

**Nitsuko**

緊急呼出電話システム

# ガイドホンCD-6N

総合説明書

日通工株式会社

# 目次(工事説明編)

※お使いになる前に

このたびは、ガイドホンCD-6をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

ガイドホンCD-6をご使用の前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

## 目次

1. 概 要	1
2. 設置及び申請について	1
3. 各部の名称と働き	2
4. システム構成図	4
5. 構成物品	4
6. 設置場所の選定	5
7. 機器の設置工事手順	6
8. 機器の取付	6
9. 配線ケーブルの取り出し方	9
10. 結線工事	12
11. 点 検	21
12. 機能および動作概要	22
13. 連絡先の電話番号の登録方法	26
14. IDコードの登録方法	28
15. 暗証番号の登録方法	30
16. 各種データ設定値の登録方法	31
17. 電話番号、ID番号、暗証番号、各種データ設定値の確認方法	34
18. 可変メッセージの録音方法	36
19. 可変メッセージの確認方法	38
20. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の確認方法	38
21. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の変更方法	38
22. テレコントロールによる外部出力接点の制御	38

# 1. 概要

ガイドホンCD-6(以下本装置という)は、一般加入電話回線に接続して使用され、CD(現金自動支払機)、ATM(現金自動預金払出機)等の無人機器の故障時、操作上の問合せ時に屋外電話機を操作することにより、あらかじめ記憶している所定の通報先へ自動的にダイヤルして緊急連絡を行う装置です。

通報先は、呼出モード設定ボタン等により、Aグループ、Bグループ、Cグループの3グループのいずれかを指定でき、各グループにはそれぞれ3宛先を設定することができます。(以上ガイドホン機能)

また、屋外電話機と屋内電話機の相互通話を行うこともできます。(インターホン機能)

屋外電話機扱い者(お客様)に対しては音声合成音により操作のガイダンスを行います。

また、非常通報装置としての機能も兼ね備えており、あらかじめ登録された3宛先(Dグループ)へ通報する事ができます。

# 2. 設置および申請について

本装置は電話回線に直接接続して使用するものですから、設置工事は郵政大臣の認定を受けた電話工事担任者でなければなりません。

また、端末設備接続(変更)請求書(添付品)を日本電信電話株式会社(NTT)の所管支店、営業所窓口宛に郵送して下さい。

次の例の様に記入して下さい。

## [端末設備接続(変更)請求書]の記入のしかた

(表面のご記入について)

- 宛先………電話料金の領収証、電話番号簿等でお客さまの電話番号を確認して、記入してください。
- 切手………必ず切手をお貼りください。
- 契約者氏名………電話局に契約申込みをした時の契約者(名義人)です(通常は世帯主です)。必ずなつ印してください。

1. 端末機器名等  
次のように記入してください。

機 器 名	適合認定・ 型式指定番号等	台数
ガイドホン CD-6 (配線設備: NTT・自営)	P89-3004-0	

配線設備は、NTTが自営かに○をつけて下さい。  
台数は主装置の台数を記入して下さい。

2. 端末機を取付ける電話番号  
………電話番号を記入してください。
3. 端末機を取付ける場所  
………住所を記入してください。

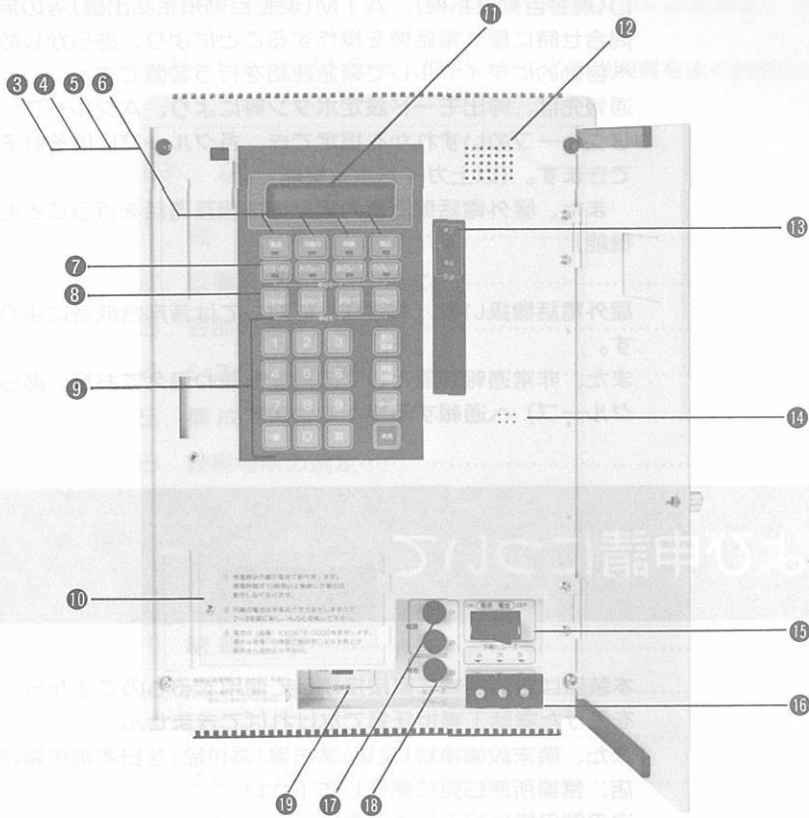
4. 連絡先
- 故障時の連絡先 ……お買い上げの施工店名と施工担当者、電話番号を記入してください。
  - 契約者の連絡先 ……この請求書を提出する契約者の勤務先(自営の場合、店名等)、お名前、電話番号を記入してください。
  - 工事担任者名 ……取付け工事を行なう担任者のお名前、電話番号を記入してください。
5. 使用開始日………使用開始の希望日を記入してください。

端末設備接続(変更)請求書		
日本電信電話株式会社 支店・営業所 鼓		
ご契約者名 _____ ㊞		
下記のとおり端末設備を設置するので提出します。 記		
1. 端末機器名等(新設または変更後)		
機 器 名	適合認定・ 型式指定番号等	台数
ガイドホンCD-6 (配線設備: NTT・自営)	P89-3004-0	
2. 端末機器を取付ける電話番号		
TEL.( ) _____		
3. 端末機器を取付ける場所(住所)		
住 所 _____		
4. 連絡先		
故障時の 連絡先	会社名 氏 名	TEL. _____
契約者の 連絡先等	会社名等 氏 名	TEL. _____
工事担任者名 *		TEL. _____
*工事担任者が必要な行事を行なう場合または、工事担任者の監督のもとに工事を行なう場合に記入します。		
5. 使用開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日		
MM4138-0410		

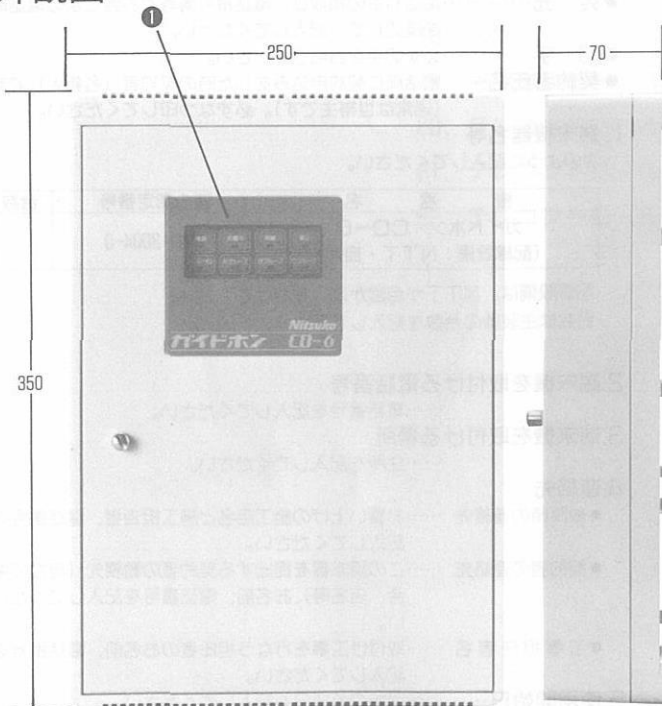
### 3. 各部の名称とはたらき

#### 内観図

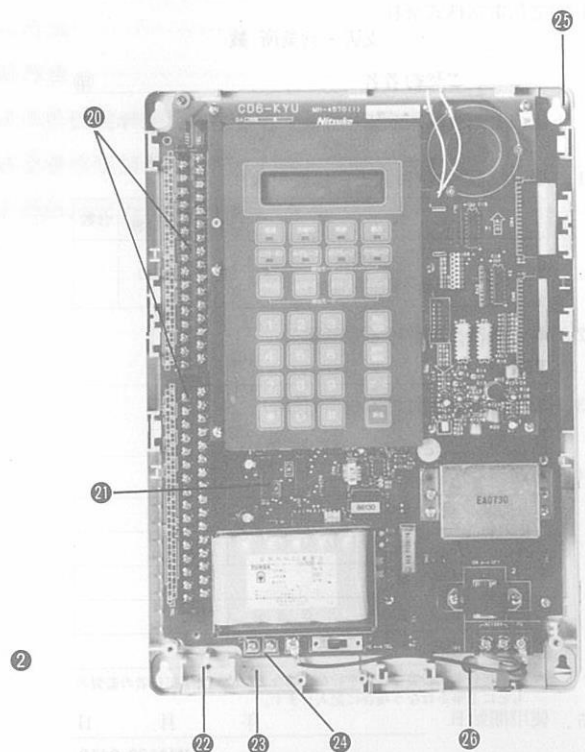
カバーを開いた状態



#### 外観図



#### 内蔵図 上ケースを外した状態



### ① 監視窓

カバーを開めた状態で内蔵のランプを見ることができ、現在の呼出モードの状態や、通電状態等の確認ができます。

### ② 電源コード

夜間、休日等に切断されることがなく24時間連続使用ができるAC100Vコンセントに接続して下さい。

### ③ 電源ランプ

AC100V電源が供給されている時点灯します。停電時は消灯します。

### ④ 充電中ランプ

内蔵の充電電池に正常充電している時点灯します。停電時は消灯します。電源ランプが点灯で、このランプが消灯の時は、充電電池の異常が考えられます。

### ⑤ 局線ランプ

本装置が動作して、電話回線を使用している間点灯します。

### ⑥ 書込ランプ

登録スイッチを「書込」側にすると点灯します。

### ⑦ 呼出モード表示ランプ

インターホン、Aグループ、Bグループ、Cグループの4つのモードの中から現在のモードを点灯表示します。

### ⑧ 呼出モード設定ボタン

呼出モードの変更をする時にこのボタンを押して下さい。

### ⑨ 操作キー

電話番号、I Dコード、暗証番号、各種データ設定値の登録時及び確認時に使用します。

### ⑩ 充電電池収納部

停電時の動作のための充電電池が収納されています。

### ⑪ 番号表示部

電話番号、I Dコード等の登録時及び確認時に番号が表示されます。

### ⑫ スピーカ

可変メッセージの確認時に使用します。

### ⑬ 登録スイッチ

電話番号、I Dコード等の登録をする時(「書込」側にする)及びそれらを確認する時(「確認」側にする)に使用します。

### ⑭ マイク

可変メッセージの録音時に使用します。

### ⑮ 電源スイッチ

### ⑯ 予備ヒューズ (3本)

#### ⑰ 電源ヒューズ

250V2.0A(MF51NN 250V2.0A : JIS C-6575相当)の筒形ガラス管ヒューズを使用します。

#### ⑱ 電池ヒューズ

250V2.0A(MF51NN 250V2.0A : JIS C-6575相当)の筒形ガラス管ヒューズを使用します。

### ⑲ 切替器

本装置を電話回線より切り離すためのスイッチです。常にスイッチを「装置」側にしておいて下さい。スイッチが「電話」側にあると連作ができません。

### ⑳ 入出力端子板

電話回線や電話機等を接続する為の端子板です。

### ㉑ 増設装置接続用コネクタ

増設装置を接続する為のコネクタです。2つ用意されています。

### ㉒ コード押え

接続するコードはここを通して、布線して下さい。

### ㉓ 裏面入線穴

接続するコード壁面から引き込む時は、この穴を通して引き込んで下さい。

### ㉔ 電話回線接続端子

電話回線を接続する為の端子板です。

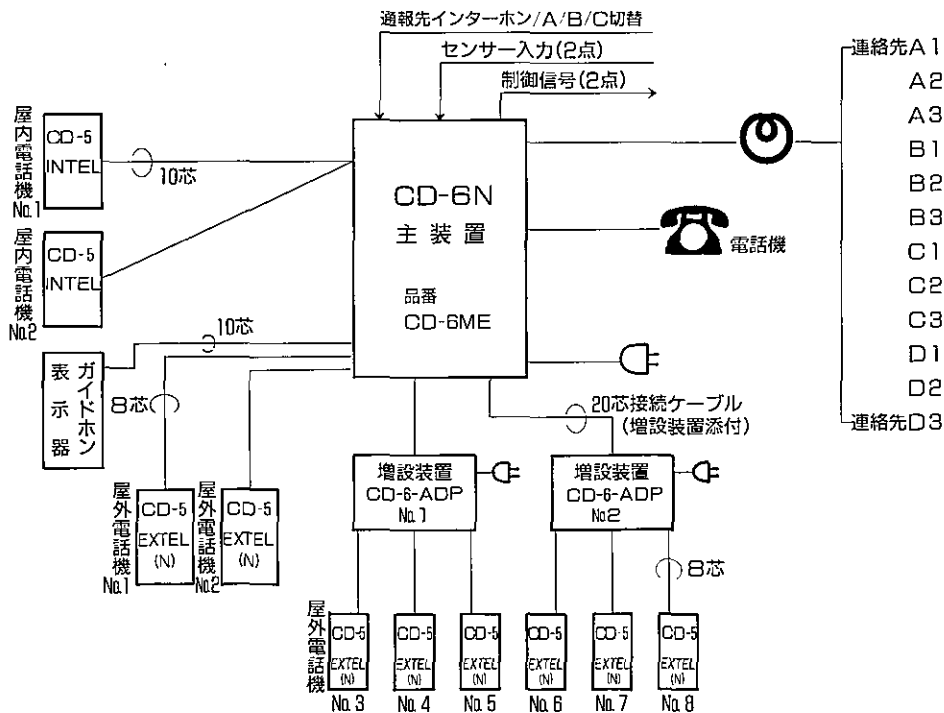
### ㉕ 壁掛用穴 (4ヶ所)

本装置を壁掛する際は、この穴4ヶ所をネジ止めして下さい。

### ㉖ 電源コード裏面入線穴

電源コードを壁面から引き込む時は、この穴を通して引き込んで下さい。

## 4. システム構成図



※主装置-電話機間のケーブルは200m以内(ループ抵抗およそ40Ωに相当)として下さい。

※屋外電話機としては、CD-5屋外電話機を使用して下さい。

※屋内電話機としては、CD-5屋内電話機を使用して下さい。

## 5. 構成物品

区分	品名	数量	記事
機器	CD-6N主装置	1	
	CD-5屋内電話機	最大2	屋内電話機用
	CD-5(N)屋外電話機	最大8	屋外電話機用
	CD-6増設装置	最大2	
	表示器	1	
添付品	総合説明書	1	
	接続請求書	1	
	保証書	1	
	ヒューズ	3	MF51NN 250V2.0A (JIS C-6575相当)
	壁掛工事用シート	1	
	木ネジ	4	主装置用/電話機用
	スタット	4	主装置用
工用品	配線ケーブル	必要数	0.4φ以上の電話用屋内線 1.6φ1Vアース線等 2×1.2φ1Vアース線等

## 6. 設置場所の選定

この装置の構成機器は

- ①主装置
- ②屋外電話機、屋内電話機
- ③配線用ケーブル
- ④電話機

の4つに大別されます。従ってまずこれらの機器の設定場所を決定しなければなりません。これらの設置場所の決定については、下記を参考にして下さい。

### (a)主装置

1. 直射日光、暖房設備、ボイラーなどの為、特に温度が上昇する場所
2. 著しく温度の低下する場所
3. 著しく湿度の高くなる場所
4. 振動、衝撃、落下の恐れのある場所
5. 水や薬品類がかかる恐れのある場所
6. ごみやほこりが多く発生する場所
7. 通行、仕事の妨げとなる場所

以上のような場所への設置は避けて、壁掛で使用して下さい。

また、商用電源（AC100V）を使用しますので、24時間電源が供給されるAC電源をご用意下さい。

### (b)屋外電話機・屋内電話機

卓上又は壁掛で使用します。主装置同様(a)1~7のような場所への設置は避けて下さい。

尚、本品は防水、防滴構造品ではありませんので、屋外用に使用するときには、必要により防水BOX等の中へ収納する様にして下さい。

### (c)配線用ケーブル

設置される部屋の美観、通行等を損わない範囲で極力短かく布設して下さい。(各電話機と主装置間のループ抵抗は40Ω以内)

### (d)電話機

主装置に直接接続可能です。

## 7. 機器の設置工事手順

機器を設置する時は次の手順で工事をおこなってください。

### ①配線系統図の作成

工事内容を把握する為、4項のシステム構成図を参照して配線系統図を作成します。

↓

### ②屋外・屋内電話機の接続（増設装置を含む）

↓

### ③表示器、センサー類の接続

↓

### ④局線の接続

↓

### ⑤電話機の接続

↓

### ⑥電源投入

主装置内部の消去ボタンを押しながらONにして、電源ランプ及び充電中ランプが点灯するのを確認して下さい。又、表示管には「VO.O Good」が表示されます。表示はデータ設定を開始すると消えます。万一、「VO.O Error」が表示されましたら、お手数ですが、主装置を交換下さるようお願いいたします。

↓ ※注：VO.OはバージョンNO.を示しています。

### ⑦電話番号・ID番号・各種データ設定値の登録、確認を行ってください。(13～19項参照)

↓

### ⑧動作試験

12項を参照し、一連の動作の確認を行ってください。

## 8. 各機器の取付

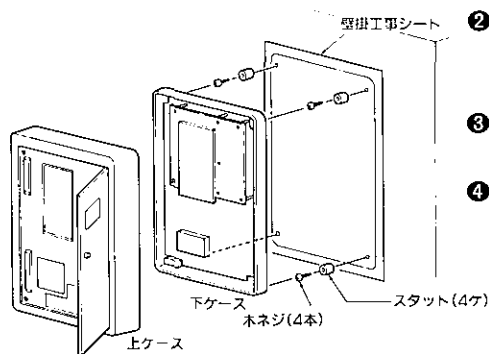
### (1)主装置の取付

①壁掛工事シートを壁面に貼付け、取付位置を定め、添付のスタット、木ネジ各4本を取り付けます。

②スタット、木ネジ取り付け後、シートを取り除き主装置の下ケースを掛け、ネジを締め付け固定します。

③屋外電話機、センサー類、局線等の接続工事はこの状態で実施して下さい。

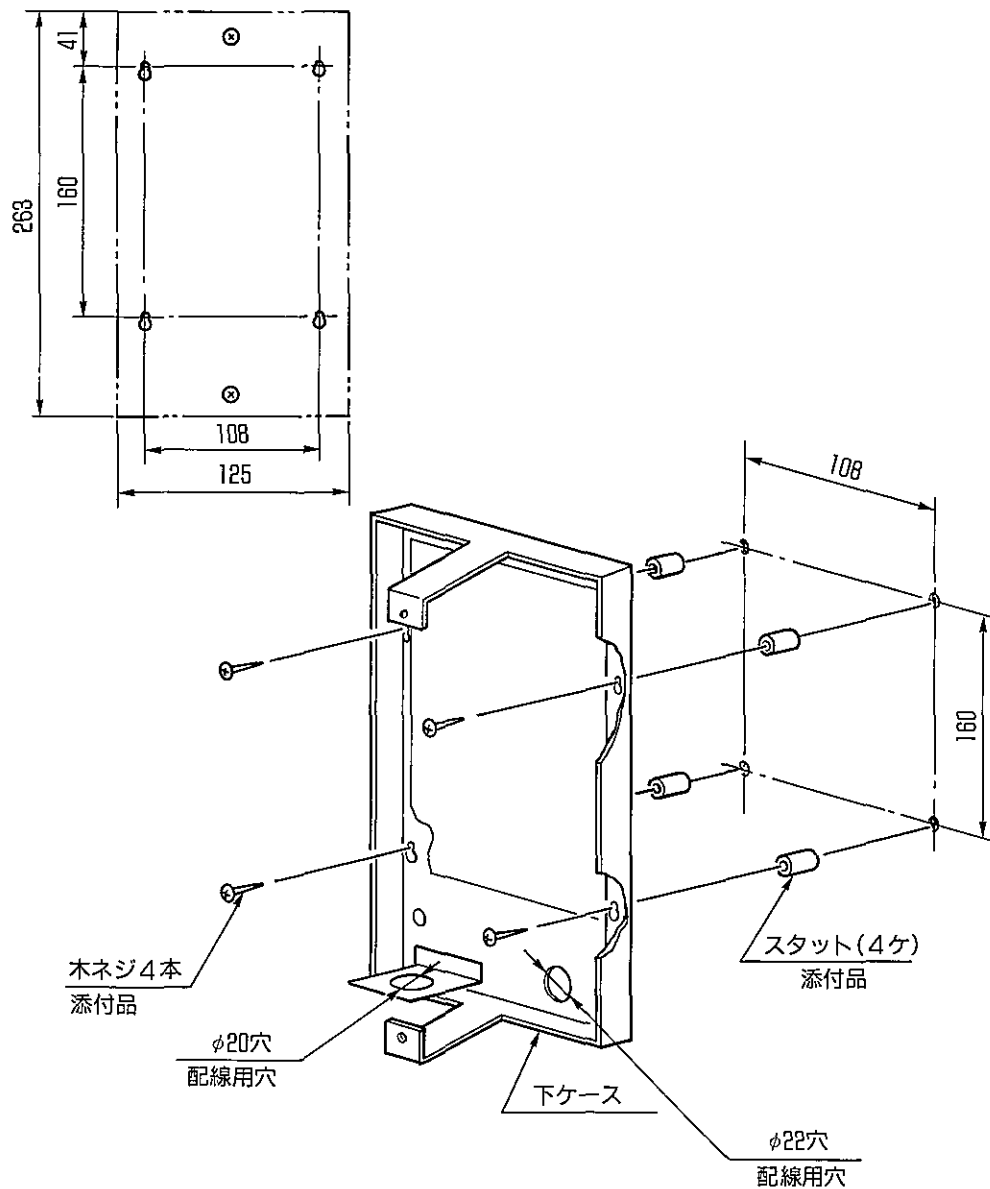
④接続工事が終了したら上ケースを取り付け、ネジ4本で締め付け固定します。



## (2)増設装置の取付

主装置のなるべく近くの位置に取り付けて下さい。  
(主装置↔増設装置間の接続ケーブル長は約50cmです)

- ①増設装置前面にあるネジをはずしカバーをはずします。
- ②下ケースを壁面にあて取付穴の位置をマークします。
- ③木ネジをマークの位置にネジ込みます。
- ④下ケースをネジに引っ掛けネジで固定して下さい。

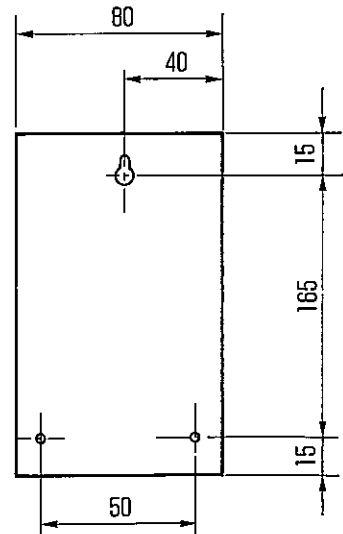
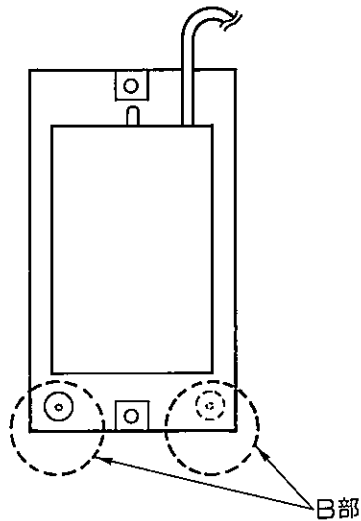
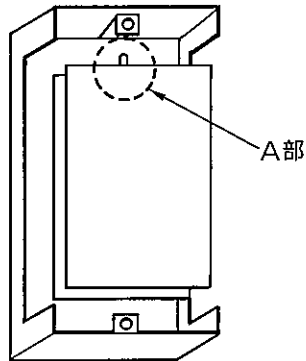


### (3)表示器の取付

表示器は何番目の屋外電話機が使用中なのかをランプ表示するもので最大8台の屋外電話機を監視することができます。

取付場所は屋内電話機の近くにして下さい。

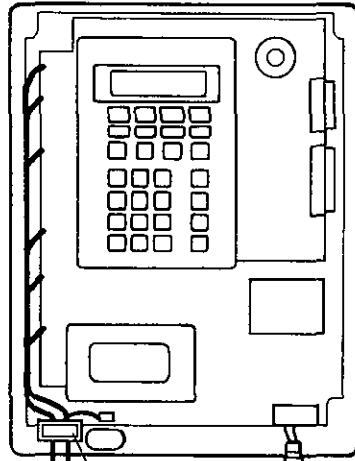
- ①表示器前面のネジ2ヶ所をはずし、前面カバーをはずします。
- ②A部の取付穴の位置をマークします。
- ③マーキングした位置にネジ頭が下から5mm位出る所までネジ込みます。
- ④本体をネジに引っ掛け固定して下さい。
- ⑤B部をネジで2ヶ所固定して下さい。



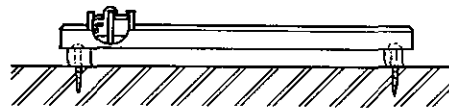
# 9. 配線ケーブルの取り出し方

## (1) 主装置

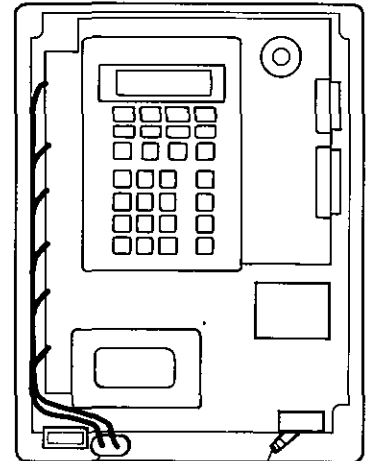
露出配線をする場合



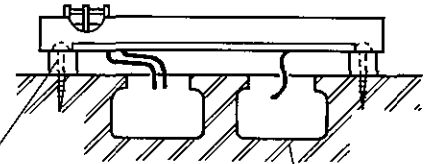
ケーブルクランプ  
電源コード  
配線を固定します。



壁埋込み配線をする場合



電源コードを引き込みます。  
配線を引き込みます。

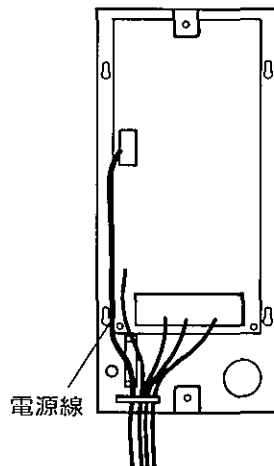


添付品のスタットを使用します。

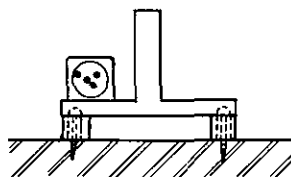
埋込みボックス

## (2) 増設装置

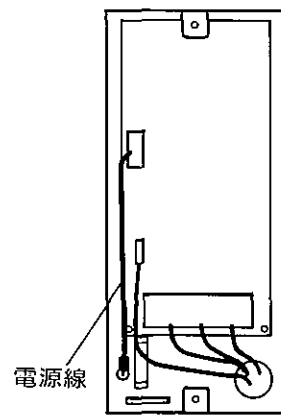
露出配線の場合



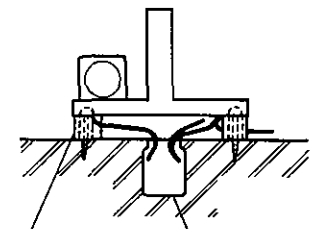
電源線



壁埋込み配線の場合



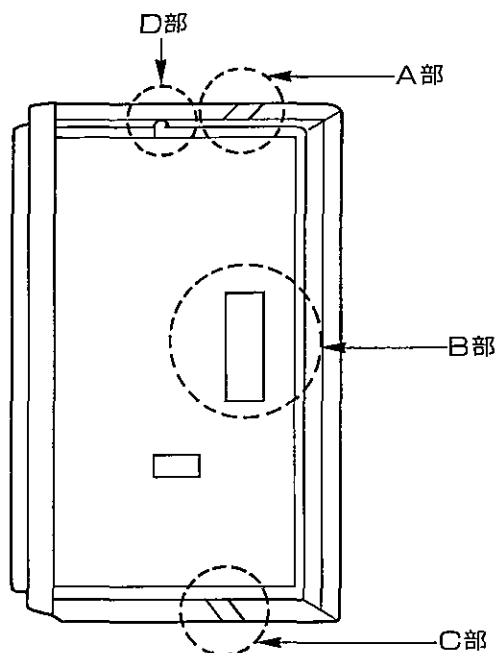
電源線



添付品のスタットを使用します  
埋込みボックス

### (3)電話機

配線ケーブルは、A部、B部、又はC部の切り込みをニツパ等で切り込み、ケーブルを取り出す。又、ケーブル止めは、D部にあり、添付の布線止めで固定して下さい。



電話機ベースプレート側

○端子板名称

屋外		屋内	
R	⊗	L	⊗
V	⊗	T <sub>1</sub>	⊗
A	⊗	R	⊗
L	⊗	INT	⊗
T <sub>1</sub>	⊗	T <sub>2</sub>	⊗
D	⊗	V	⊗
T <sub>2</sub>	⊗	A/INT	⊗
	⊗	G	⊗
	⊗	B/A	⊗
C	⊗	C	⊗

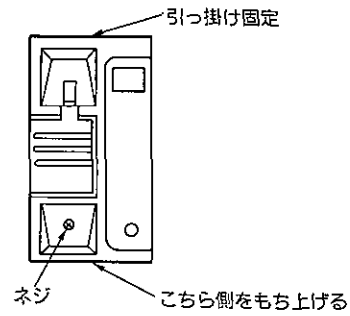
- ハウジングを外し正面から見た図です。
- 記入なき端子は空き端子です。

## (4)電話機

CD-5(N)屋外電話機、CD-5 屋内電話機の場合

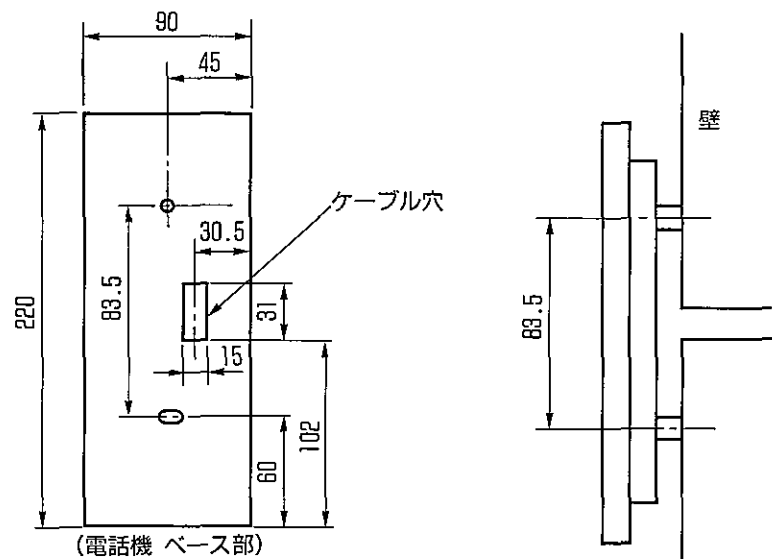
### ①電話機ハウジングの外し方

- (イ) 送話口部のネジを外します。
- (ロ) 電話機の後側が引っ掛け固定されていますので手前側をもち上げるようにすると外れます。



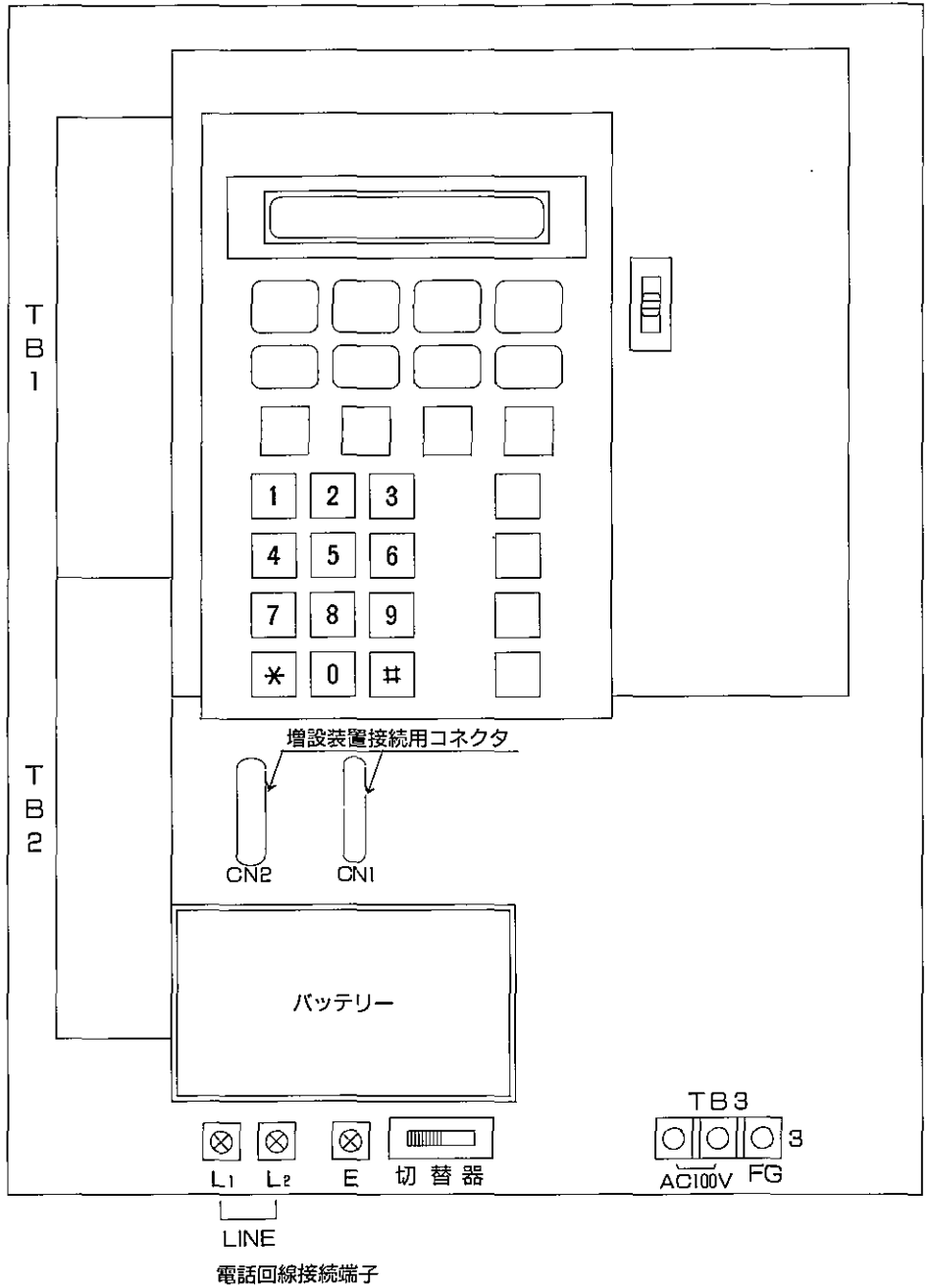
### ②電話機の壁掛取付方法

- (イ) 電話機の下ケースを添付の木ネジで壁に取り付けます。
  - (ロ) 結線が終了したなら、上ケースをかぶせ元通りにネジ止めして下さい。
- ※：穴位置は配管用プレート取付金具(JISボックス)に合わせてあります。



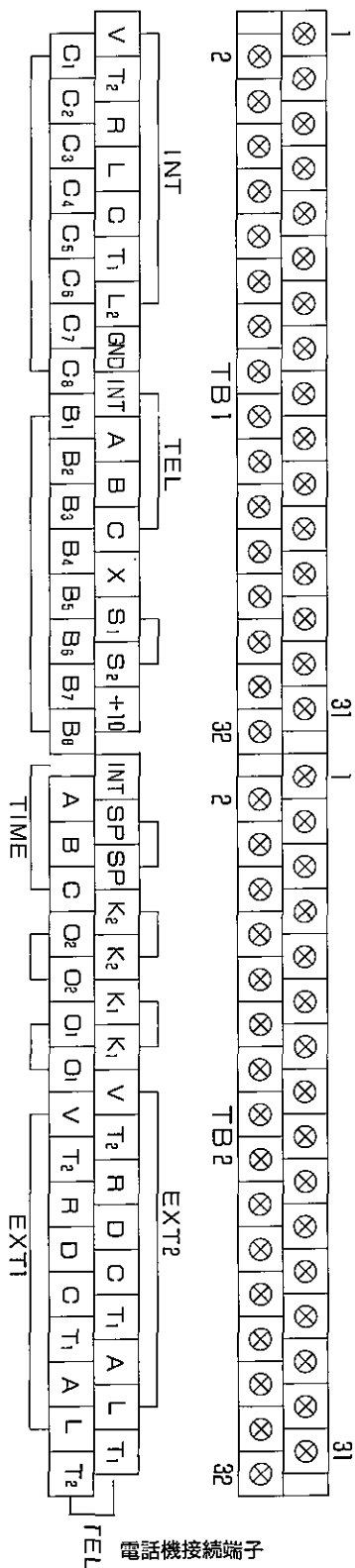
# 10. 結線工事

(1)主装置実装説明図 (上ケースを外した状態)



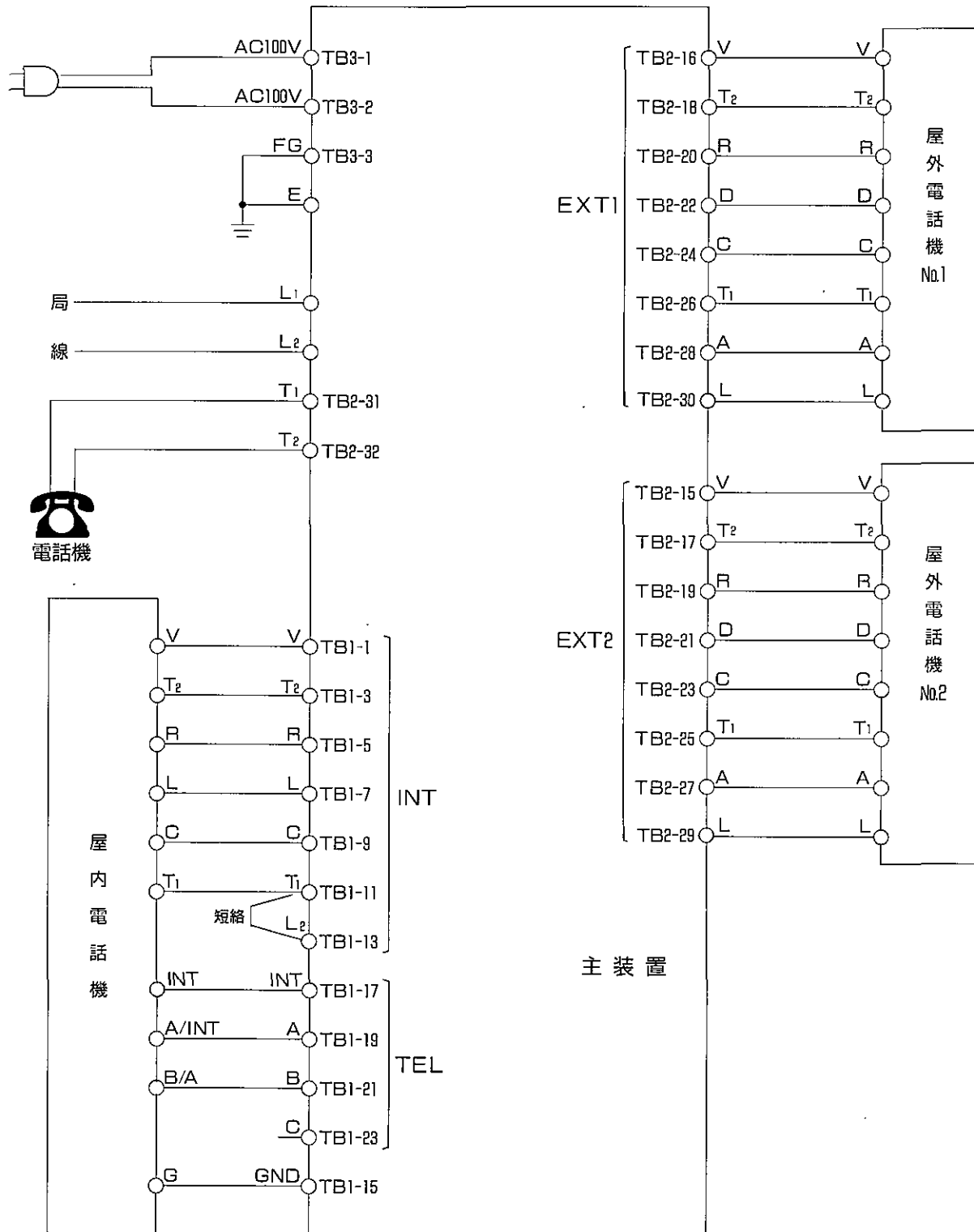
(2)端子板(TB1、TB2)説明図

端子板TB1、TB2の各端子名称と配列を左図に示します。



### (3)基本結線図 (その1)

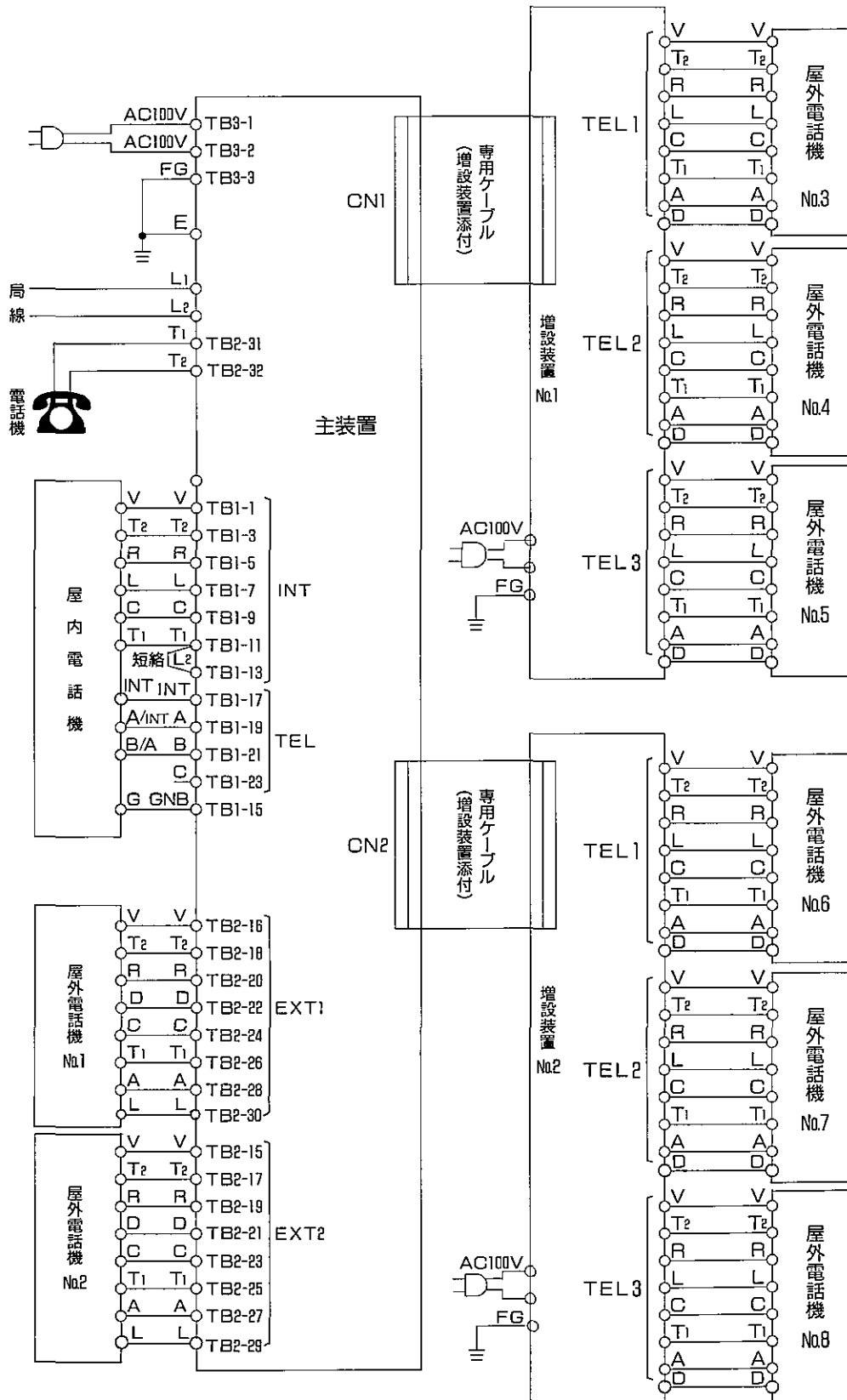
(増設装置を使用しない場合)



※屋内電話機を接続しない場合は、INT端子のLとT<sub>1</sub>とL<sub>2</sub>の端子間を短絡して下さい。  
 屋外電話機を1台のみ接続の場合は、EXT2端子のDとT<sub>1</sub>の端子間を短絡して下さい。

# (4)基本結線図 (その2)

(増設装置を使用する場合)



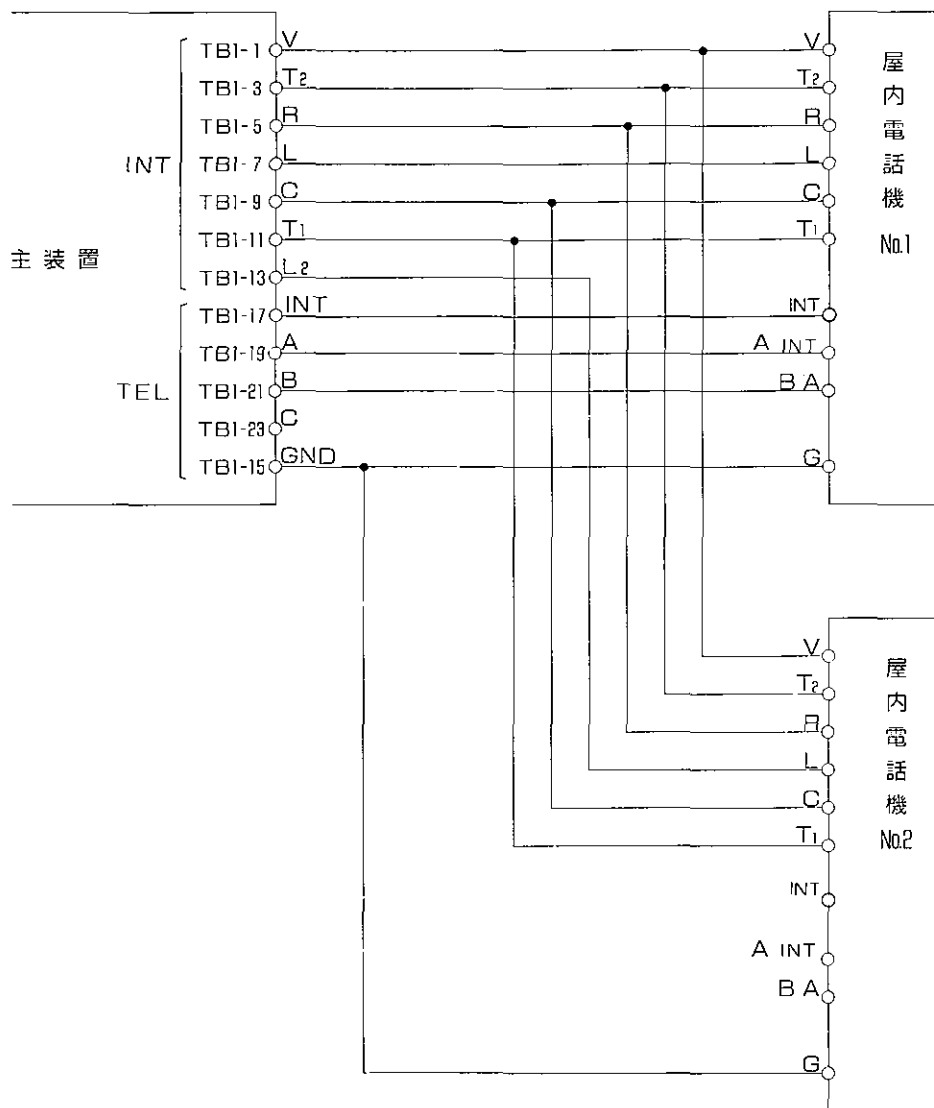


- 屋外電話機を3台以上接続する場合には本図のように増設装置を使用して下さい。増設装置を2台使用することにより、最大で屋外電話機を8台まで接続できます。

屋外電話機	IDコード 登録エリア
No.1	A51
No.2	A52
No.3	A53
No.4	A54
No.5	A55
No.6	A56
No.7	A57
No.8	A58

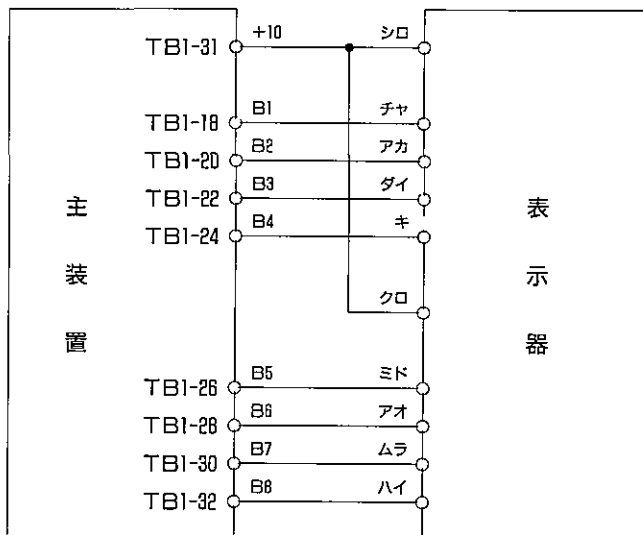
- 本装置は、屋外電話機No.1～No.8に対応して個別 IDコード(登録エリアA51～A58)を送出することができますが、その対応は左図通りになりますので、IDコードを登録する場合は注意願います。
- 屋外電話機を全数接続しない場合でも、この対応は変わりません。
- 屋外電話機を増設装置に全数3台接続しない場合には、増設装置の空き端子の「T」↔「D」間を必ず短絡して下さい。

(5)屋内電話機を2台使用する場合。



- 2台の屋内電話機で接続端子が異なるのは「L」端子のみで他の端子は同一端子に接続されます。
- 屋内電話機が1台だけの時には、主装置側で「T1↔L2」間(TBI-11↔TBI-13間)をストラップしてありましたが、このストラップは外して下さい。
- このように接続した場合に、屋内電話機が呼ばれると、2台同時にベルが鳴ります。また1台が通話中にもう1台の受話器が上げられると3者通話の状態になります。
- 2台目の屋内電話機では、モードの切替はできませんので、INT、A/INT、B/A端子は接続しないで下さい。

## (6)主装置に表示器を接続する場合



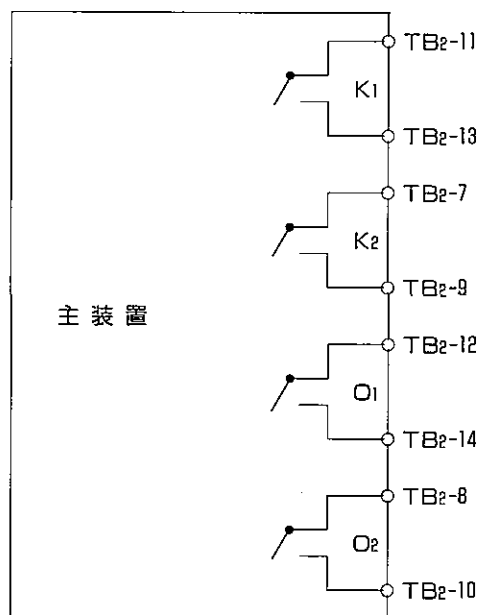
## (7)各種出力接点及び入力接点について

### (a) 出力接点

本装置の動作により、その他の機器(ランプ・カメラ・ブザー等)を駆動させる為の接点です。次の4種類の接点を用意されており、全て無電圧メーク接点です。

- ①  $K_1$  接点：装置が動作している間(連絡動作時の休止時間中も含む)メークする
- ②  $K_2$  接点：装置が局線閉結状態の時だけメークする接点
- ③  $O_1$  接点：連絡先からのテレコン(MF信号受信)により1秒間だけメークする接点
- ④  $O_2$  接点： $O_1$  接点と同じ(但し、MF信号は異なる)

(取扱説明編の8項をご参照下さい)

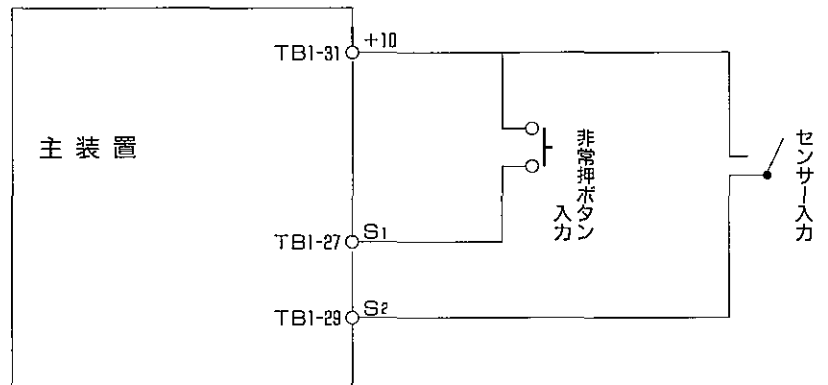


注：接点容量(最大開閉電圧電流)は  
4点全てAC120V0.5A、DC24V1Aです。

(b) 入力接点

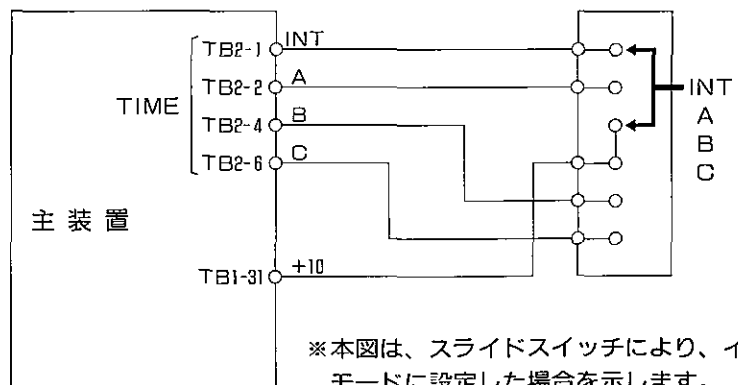
① センサー入力接点

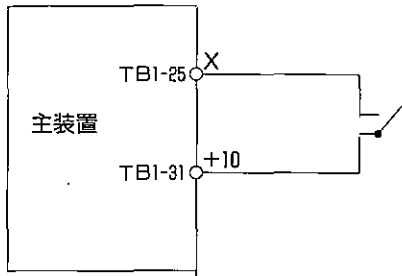
- 非常ボタン、センサー等から無電圧メーク信号を入力することにより非常通報動作を開始します。
- 入力は2系統あり+10↔S1、+10↔S2間がメーク状態になったことにより、入力有りと判断します。



② 呼出モード変更入力接点

- 呼出モードは、インターホン、Aグループ、Bグループ、Cグループの4種類があり、これの変更は、主装置の呼出モード設定ボタン、屋内電話機のモード切替スイッチ、連絡先からのテレコントロールの他、呼出モード変更入力接点により行うことができます。
- INT、A、B、C、(TIME)↔+10 間に無電圧メーク信号を入力することにより呼出モードを決定します。
- 入力するメーク信号は、ロック式（常時メークしたまま）、ノンロック式（一瞬だけメークする）どちらでも可能です。
- 呼出モード設定ボタン等と選択されたモードが異なる場合や、2台以上の接点がメークしたままになっている時には一番最後に入力されたモードになります。
- 現在、何のモードであるかは、主装置の呼出モード表示ランプにより知ることができます。



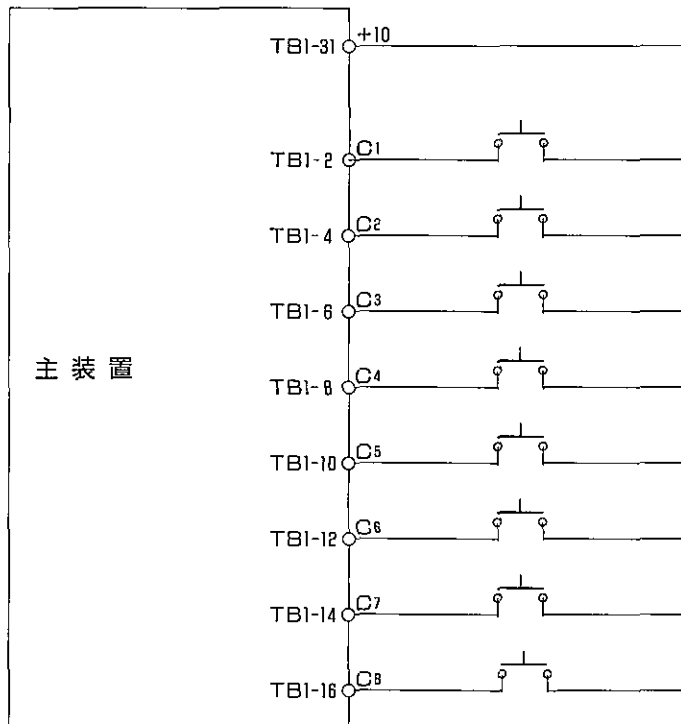


#### ③ 他装置使用中入力接点

- 同一電話回線に他の装置を接続する場合には、他の装置からの起動信号（無電圧メーク信号）をX↔+10間に入力して下さい。この端子がメーク状態の時は、ガイドホンは通報動作には進まず、オープン状態になったのを確認してから通報を開始します。

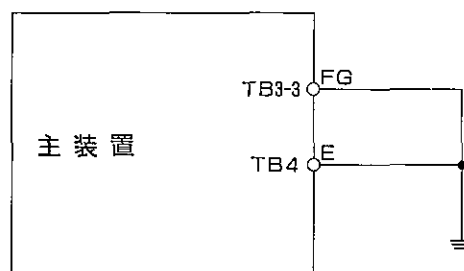
#### ④ 屋外電話機個別呼出接点

- 屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合は、通常、一斉呼出ししかできませんが、次の様に個別呼出用の押ボタンスイッチ等を用意することにより、個別呼出が可能となります。
- C1～C8↔+10間にメーク信号を入力して下さい。  
C1～C8はそれぞれ屋外電話機No.1～No.8に対応します。



#### (8) 接地(アース)の方法

接地する場合は、接地線(φ1.6 600V IV線相当)を主装置内部の端子板TB3のFG端子及びE端子に接続し、第3種接地(接地抵抗100Ω以下)を行って下さい。



# 11.点 検

設置が完了したなら、13項以後に従って電話番号・ID番号・各種データ設定値の登録、確認、及び可変メッセージを使用する場合はメッセージの録音、確認を行って下さい。その後、12項を参照し、一連の動作の確認を行って下さい。

## 12. 機能および動作概要

本項目により動作確認を行う前に13～16項により電話番号等の登録を行って下さい。  
本文中\_\_\_\_部は選択項目であり、16項により設定します。尚、下記のA□□は、データ設定の登録エリアを示しています。

### 12-1. ガイドホン機能

(呼出モードをAグループ、Bグループ、Cグループのいずれかとして使用する)

#### 1. 屋外電話機から所定の連絡先(管理センター、警備会社、etc)を呼出す場合

- (1)屋外電話機の受話器を外すと「ご使用になっている電話機の呼出しボタンを押して下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。
- (2)呼出しボタンを押すと、「ただ今連絡しております。受話器をもったまましばらくお待ち下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。
- (3)設定されている呼出モードに従い、Aグループ、Bグループ、Cグループのいずれかの第1宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

※データ設定A70により選択—————(4)第1宛先が所定時間(30秒又は60秒を選択)呼出ししても応答しない時には、1度電話回線を開放し、15秒の休止時間の後、第2宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

※データ設定A71により選択—————(5)第2宛先が所定時間(30秒又は60秒を選択)呼出ししても応答しない時には、1度電話回線を開放し、15秒の休止時間の後、第3宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

(6)第3宛先も所定時間(60秒固定)呼出ししても応答しない時には、電話回線を開放し呼出動作を終了します。

(7)前項の中で、第1宛先～第3宛先のいずれかが応答した場合には、通話に先立ちどこからの通報であるかを知らせるためのIDコードを伝えます。

※データ設定A81により選択—————IDコードは、音声、符号、符号+音声の3つの方式から1つを選択します。

音 声：「こちらは〇〇〇〇です」と音声合成音で伝える方式

符 号：音声の場合の〇〇〇〇の部分だけをMF信号で伝える方式

符号+音声：〇〇〇〇とMF信号を送出し、続けて「こちらは〇〇〇〇です」と音声合成音も送出する方式

〇〇〇〇：0～9、#、\*であり、音声の場合#、\*が設定されている時は「の」を発声します。

例：123#4が設定されていて音声の時のIDコードは「こちらはイチ、ニ、サン、のヨン です」となります。

※データ設定A83により選択—————またIDコードは「こちらは〇〇〇〇の〇です」という固定メッセージの他に「こちらは〇×銀行△□支店です。」という可変メッセージを伝えることもできます。

(8)連絡先にIDコード送出中は、屋外電話機扱い者には呼出音を聞かせます。

(9)IDコード送出が終了すると、屋外電話機扱い者と連絡先との間で通話が可能となります。

※データ設定A77により選択—————(10)通話開始から所定時間(10分、20分、30分のいずれかを選択)経過すると終話予告音(ピー)が鳴り出します。鳴っている最中に屋外電話機の呼出しボタンを押してもらるか、MF信号「#」を入力すると、音は鳴り止み通話時間が延長されます。そうでない時には、終話予告音が16回(約30秒)鳴った後で強制的に電話回線を開放致します。※本機能(：長時間通話監視)を動作させないことも可能です。

(11)通話の延長時間は、通話開始から監視する所定時間(10分、20分、30分のいずれか選択)と同じになります。

また、通話延長は何度でも行うことができます。

(12)使用されている屋外電話機の「使用中」ランプ及び、他の屋外電話機の「使用中」ランプは点灯します。

(13)「使用中」ランプが点灯している屋外電話機の受話器を外すと「ただ今使用中です。受話器をもとに戻し使用中ランプが消えてからおかけ直し下さい」というメッセージを屋外電話機のスピーカから伝えます。

- ※データ設定A83により選択————— 2. 連絡先(管理センター、警備会社、etc)から屋外電話機を呼出す場合  
 連絡先(以下発呼者)からの呼出しに対し、次の3通りの応答モードのうちからいずれかを選択します。  
 自動応答モード  
 手動応答モード  
 応答しないモード  
 それぞれ次の動作となります。

#### 《自動応答モード》

呼出は、音声による一斉呼出と個別呼出、ベルによる一斉呼出と個別呼出の4通りが可能です。

- (1)着信信号を検出するとガイドホンは自動的に応答し、IDコード「こちらは〇〇〇です」を送出し、つづいて「暗証番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。(暗証番号を間違えた時は、**ⓧ**を押して、改めて暗証番号を入力して下さい。)
- ※データ設定A73により選択————— ○着信検出から自動応答までの時間は0、10、20、30秒からいずれかを選択します。  
 ○この時のIDコードは必ず音声で送出します。
- (2)30秒以内に暗証番号が入力されない場合には電話回線を開放します。(但し、本装置にあらかじめ暗証番号を登録していない場合は、屋外電話機の一斉呼出となる。)
- (3)入力された暗証番号が一致した場合には、「番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。
- (4)音声による呼出をする場合には**111**～**118**又は**110**とMF信号を入力します。**111**～**118**の時には2桁目の番号に対応する屋外電話機を、**110**の時は全ての屋外電話機を音声呼出します。
- (5)発呼者へは「ピンポーン」という呼出音が1度だけ返りますのでそのままお客様をお呼び下さい。
- (6)屋外電話機のスピーカからは「ピンポーン」という呼出音につづいて、音声が聞こえます。
- (7)屋外電話機を受話器を外すことにより相互通話が可能となります。
- ※データ設定A76により選択————— (8)屋外電話機を受話器が外されない時には、所定時間(30、60、180、360秒)経過後に電話回線を開放します。  
 また途中で強制的に復旧させたい場合には**999**と入力します。
- (9)4項でベルによる呼出をする場合には**211**～**218**又は**210**とMF信号を入力します。**211**～**218**の時には2桁目の番号に対応する屋外電話機を、**210**の時は全ての屋外電話機をベル呼出します。
- (10)発呼者へは呼出音(ピンポーン)が返りますので、そのままお客様が応答するのを待ちます。
- (11)屋外電話機はベルが鳴動します。
- (12)屋外電話機を受話器を外すと相互通信が可能となります。
- ※データ設定A76により選択————— (13)屋外電話機を受話器が外されない時には、所定時間(30、60、180、360秒)経過後に呼出をやめ、電話回線を開放します。  
 また途中で強制的に復旧させたい場合には呼出音が鳴っていない時に**999**と入力します。

#### 《手動応答モード》

呼出しはベルによる一斉呼出のみとなります。

- (1)着信信号を検出すると全ての屋外電話機のベルが鳴動します。  
 (2)いずれかの屋外電話機を受話器を外すことにより相互通話が可能となります。  
 (以後は12-1-1(10)以後と同じ)

#### 《応答しないモード》

- (1)着信信号を検出しても何も行いません。通常の電話機を接続してあれば、この電話機のベルが鳴動します。

## 12-2. インターホン機能

### 1. 屋外電話機から屋内電話機を呼出す場合

(1)屋外電話機の受話器を外すと「ご使用になっている電話機の呼出しボタンを押して下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。

(2)呼出しボタンを押すと、屋内電話機のベルが鳴動し、屋外電話機扱い者には呼出音が聞こえます。

(3)屋内電話機の受話器を外すことにより相互通話が可能となります。

(4)一定時間呼出ししても屋内電話機側が応答しない時には自動的にガイドホン機能に切替えることができます。

時間は（10、15、20、30秒）のいずれかを選択できます。

※データ設定A72により選択 ———— この機能を自動切替タイマーと言い、時間は次のようになります。

有				り	無	し
10秒	15秒	20秒	30秒			

(5)所定時間経過後はガイドホン機能となり、12-1-1(3)以後の動作を行います。

(6)通話が終了し電話回線を開放すればインターホン機能に戻ります。

### 2. 連絡先(管理センター、警備会社、etc)から屋外電話機を呼出す場合

※データ設定A83により選択 ———— 3種類の応答モード

- ┌ 自動応答モード
- ├ 手動応答モード
- └ 応答しないモード

と次の3種類のモードとの組み合わせとなります。

- ┌ 応答する
- ├ 自動切替タイマー有りの時だけ応答する
- └ 応答しない

この中で「応答する」を選択した時には、インターホン機能であってもガイドホン機能の時と全く同じ応答形式となります。

「自動切替タイマー有りの時だけ応答する」を選択した時には、データ設定で「自動切替タイマー」を「有」とした場合に限り、インターホンモードであっても、ガイドホンモードの時と同じ応答形式となり、「無」とした場合には、全く応答しないこととなります。

「応答しない」を選択した時には、インターホン機能の時には全く応答しないこととなります。

すなわち、インターホン機能の時に応答させる為には、ガイドホン機能の時の応答モードで、「自動応答モード」又は「手動応答モード」のいずれかを選択する必要があります。

「応答しないモード」を選択すると

ガイドホンモード、インターホンモードいずれの時も着信信号を検出しても何も行いません。

### 3. 屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合

この場合は、ガイドホン機能、インターホン機能どちらの場合も同じ動作となります。

※データ設定A82により選択——— 呼出しに対し、次の2つのモードのうちいずれかを選択します。

- 音声呼出モード)
  - ベル呼出モード)
- それぞれ次の動作をします。

#### 1. 音声呼出モード

- (1)屋内電話機の手話機を外し、呼出しボタンを押して下さい。
- (2)「ピンポン」という呼出音が聞こえますので、そのまま続けてお客様をお呼び下さい。
- (3)全ての屋外電話機のスピーカからは「ピンポン」という呼出音に続いて、音声が入ります。
- (4)いずれかの屋外電話機の手話機を外すことにより相互通話が可能となります。

#### 2. ベル呼出モード

- (1)屋内電話機の手話機を外し、呼出しボタンを押して下さい。
- (2)屋内電話機の手話機からは呼出音が聞こえます。
- (3)全ての屋外電話機のベルが鳴動します。
- (4)いずれかの屋外電話機の手話機を外すことにより相互通話が可能となります。

### 12-3. センサー入力検出時の動作

この場合も、ガイドホン機能、インターホン機能どちらの場合も同じ動作となります。センサー入力接点は2系統(S1、S2)あり、いずれも無電圧メーク接点のものを使用します。

※データ設定A78により選択——— 入力検出遅延時間は0、5、10、30秒の中からいずれか1つを選択します。

- (1)設定した遅延時間以上連続して入力があった時に通報動作を開始します。
- (2)連絡先は、呼出モードがいかなる場合であってもDグループだけになります。
- (3)呼出はDグループの3宛先を3サイクル呼出し、この間に宛先が応答したなら、次のメッセージを伝えます。  
「こちらは〇〇〇です 非常発生 イチ(又はニ)」(S1:イチ、S2:ニとなる)  
ここで〇〇〇はIDコードとして登録している番号です。(A50又はA59に登録)  
また、次の様な可変メッセージを伝えることもできます。  
「こちらは〇×銀行□△支店です。ATMに非常発生」ここで\_\_\_\_部はIDコードとして伝えるメッセージです。

※データ設定A89により選択———

- (4)メッセージは連絡先が先に電話を切るまで、又は最大20回伝えます。
- (5)符号で送出する時には  
〇〇〇@①①(S1の時)、〇〇〇@②②(S2の時)を1回だけ送出します。

## 13. 連絡先の電話番号の登録方法

連絡先は4グループ（A～Dグループ）にそれぞれ3宛先（第1～3宛先）の合計12宛先まで設定することができます。ただしDグループの3宛先は異常発生時専用の連絡先です。

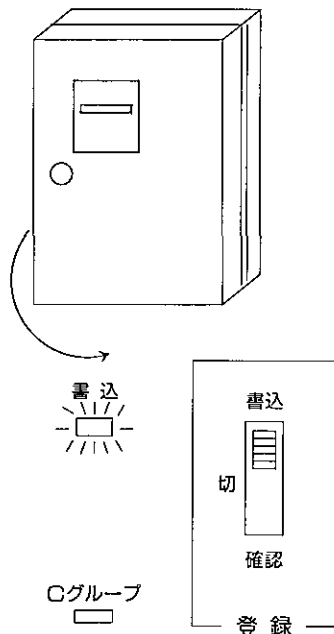
実際の宛先と登録エリアの対応は次の通りです。

グループ名	宛 先 名	登録エリア	備 考
Aグループ	第1宛先 第2宛先 第3宛先	A11 A12 A13	
Bグループ	第1宛先 第2宛先 第3宛先	A21 A22 A23	
Cグループ	第1宛先 第2宛先 第3宛先	A31 A32 A33	
Dグループ	第1宛先 第2宛先 第3宛先	A41 A42 A43	

A、B、Cのどのグループへ連絡するかは、主装置の呼出モード設定ボタン、屋内電話機のモード切替スイッチ、外部からの接点入力、連絡先からのテレコントロールにより切替えることができます。

現在のモードは呼出モードランプの点灯を見ることによりわかります。

次の頁の（例）に従って登録して下さい。



[例] Aグループ第1宛先に電話番号123局4567番を登録する場合

- (1)正面のカバーを開いて下さい。  
 (2)登録スイッチを書込側に設定して下さい。  
 書込ランプが点灯します。

(3)  ボタンを押して下さい

番号表示板に **A-** が表示されます。

A -

(3)数字ボタン  と押して下さい(登録エリアを指定します)

番号表示板に **A11-** と表示されます。

A11-

(4)数字ボタンを  と押して下さい(電話番号を入力します)

**A11-**の後に1234567と表示  
 されます。

A11-1234567

番号を入力すると右から左へシフトして行き、最大7桁まで表示します。  
 更に番号を入力すると、最上位桁が消え最下位桁に新しい番号が表示されます。

(5)  ボタンを押して下さい。

表示は **A-** に戻ります。

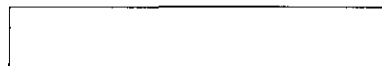
A -

これで登録完了です。

- (6)他の宛先にも電話番号を登録する場合は、前記(3)~(5)を繰り返して下さい。  
 (3)では、宛先に対応する登録エリアの番号を、(4)では電話番号を入力して下さい。

(7)全ての宛先の登録が終了したなら、登録スイッチを「切」に戻して下さい。

全ての表示は消え  
 書込ランプは消灯します。



注1. 電話番号の中にポーズ時間(約3秒)を入れたい時は  ボタンを押して下さい。  
 この時の表示は **P** となります。

注2. 桁数は、ポーズも含めて最大32桁まで登録することができます。

注3. 間違った番号を入力した時には  ボタンを押して下さい。  
 それまでに入力した番号が取り消されます。

# 14. IDコードの登録方法

IDコードは最大10種類まで登録することができます。  
登録エリアとの対応は次の通りです

区 分	名 称	登録エリア
屋外電話機 個別 IDコード	屋外電話機 No.1 IDコード	A51
	屋外電話機 No.2 IDコード	A52
	屋外電話機 No.3 IDコード	A53
	屋外電話機 No.4 IDコード	A54
	屋外電話機 No.5 IDコード	A55
	屋外電話機 No.6 IDコード	A56
	屋外電話機 No.7 IDコード	A57
	屋外電話機 No.8 IDコード	A58
着信自動応答時 IDコード	着信自動応答時 IDコード	A59
屋外電話機共通 IDコード	屋外電話機共通 IDコード	A50


ガイドホンは屋外電話機を最大8台まで接続することができます（3台以上5台までは増設装置1台、6台以上8台までは増設装置が2台必要となります）  
それぞれ個別のIDコードを送出することができます。  
またIDコードが全ての屋外電話機に共通でよい時にはA50にだけ登録して下さい。この時はA51～58に登録したIDコードは無効になります。  
逆に個別IDコードを送出する時には必ずA50の内容を消去して下さい。

次の例に従って登録して下さい。

(例) 屋外電話機個別IDコードとして「890の1」～「890の8」を登録する場合

(1)正面のカバーを開いて下さい。


(2)登録スイッチを書込側に設定して下さい。  
書込ランプが点灯します。

(3)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。

A -

(4)数字ボタンを50と押して下さい。  
A50-と表示されます。

A50-

(5)  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。


A -

(6)数字ボタンを⑤①と押して下さい。  
表示はA51- となります。

A51-

(7)数字ボタンを⑧⑨⑦①と押して下さい。  
A51- の後に890n1 と表示されま  
す。

A51- 890n1

(8)  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。  
これで登録完了です。



A -

(9)以上は屋外電話機No.1のIDコードを登録する場合でありNo.2~No.8のIDコードを  
登録する場合には、(6)で数字ボタンを⑤②~⑤⑧と押し、(7)で⑧⑨⑦①②~⑧と押  
して下さい。

このようにして上記(6)~(8)を繰り返して下さい。

(10)全てのIDコードの登録が終了したなら、登録スイッチを「切」に戻して下さい。  
全ての表示は消え  
書込ランプは消灯します。

注1. IDコードは最大16桁まで登録することができます。

注2. IDコードの中に、、を登録した場合は、符号で送出するモードの時はそのま  
ま、音声で送出するモードの時は「の」と発声します。  
従って、上記の例の場合「こちらは、ハチ、キュウ、ゼロ、のイチ です」となり  
ます。

注3. (4)、(5)の操作でA50の内容を消去しています。

# 15. 暗証番号の登録方法


連絡先等外部から局線を通して屋外電話機を呼出したり、テレコントロールをするためには、あらかじめ、暗証番号を登録しておく必要があります。これと、着信自動応答時に入力された暗証番号が一致した時のみ上記制御が可能となります。

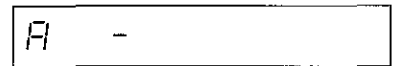
次の例に従って登録して下さい。

(例) 暗証番号として1234を登録する場合

(1)正面のカバーを開いて下さい。

(2)登録スイッチを書込側に設定して下さい。  
書込ランプが点灯します。

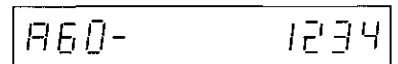
(3)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。




(4)数字ボタンを⑥⑦と押して下さい。  
A60-と表示されます。



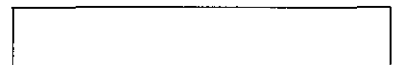
(5)数字ボタンを①②③④と押して下さい。  
A60-の後に1234 と表示されます。



(6)  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。  
これで登録完了です。



(7)登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示は消え  
書込ランプは消灯します。



注1.暗証番号は4桁（必ず4桁の数字のみ）で登録して下さい。


注2.暗証番号が登録されていない時、外部から局線を通しての屋外電話機の呼出しは音声一斉呼出となります。

## 16. 各種データ設定値の登録方法

連絡先宛呼出時間、自動切替タイマの値、自動応答までの遅延時間、通話監視時間  
ダイヤル方式、応答モード等を設定します。

設定項目、設定値、初期設定値、登録エリア等は次表の通りです。

No.	設定項目	登録エリア	登録番号	設定値	初期登録番号	初期設定値
1	第1連絡宛先呼出時間	A 70	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30 秒 60 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	30 秒
2	第2連絡宛先呼出時間	A 71	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30 秒 60 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	30 秒
3	自動切替タイマー (インターホン→A、B、C) <input type="checkbox"/> ①: インターホン → A <input type="checkbox"/> ②: インターホン → B <input type="checkbox"/> ③: インターホン → C	A 72	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	10 秒 15 秒 20 秒 30 秒 切替無し	<input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ①	切替無し
4	着信検出から自動応答までの 遅延時間 (呼出しモードがA、B、Cグ ループの時)	A 73	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	遅延無し 10 秒 20 秒 30 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	遅延無し
5	着信検出から自動応答までの 遅延時間 (呼出モードがインターホンで 自動切替無しの時)	A 74	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	遅延無し 10 秒 20 秒 30 秒	<input type="checkbox"/> ①	10 秒
6	着信検出から自動応答までの 遅延時間 (呼出モードがインターホンで 自動切替有りの時)	A 75	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	遅延無し 10 秒 20 秒 30 秒	<input type="checkbox"/> ①	10 秒
7	着信自動応答から復旧までの 時間	A 76	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	30 秒 60 秒 180 秒 360 秒	<input checked="" type="checkbox"/>	30 秒
8	長時間通話 監視時間	A 77	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	10 分 20 分 30 分 監視しない	<input type="checkbox"/> ③	監視しない

No.	設定項目	登録エリア	登録番号	設定値	初期登録番号	初期設定値
9	センサー入力 検出遅延時間 	A 78	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	遅延無し 5 秒 10 秒 30 秒	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	センサー入力 1、2ともに 遅延無し
10	IDコード送出回数	A 79	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	0 回 1 回 2 回 3 回 4 回 5 回 6 回 7 回 8 回 9 回	<input checked="" type="checkbox"/>	2 回
11	接続されている屋外電話機No. [ 接続する電話機の番号を 指定する No.1、2、6、7を接続 している時は <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> と 登録する ]	A 80	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	屋外電話機 No. 1 屋外電話機 No. 2 屋外電話機 No. 3 屋外電話機 No. 4 屋外電話機 No. 5 屋外電話機 No. 6 屋外電話機 No. 7 屋外電話機 No. 8	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	屋外電話機No.1 No.2の2台接続 可能
12	(各宛先への) IDコード送出 方式 番号は必ず12桁入力する 1 桁目-Aグループ第1宛先 2 桁目-Aグループ第2宛先 ⋮ 11 桁目-Dグループ第2宛先 12 桁目-Dグループ第3宛先	A 81	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	音 声 符 号 符号+音声	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	12宛先全て音声
13	屋内電話機から屋外電話機の 呼出方式	A 82	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	音 声 べ ル	<input checked="" type="checkbox"/>	音声呼出

No.	設定項目	登録エリア	登録番号		設定値	初期登録番号	初期設定値
14	1桁目 ダイヤル方式	A 83	1 桁目	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	DP 10PPS DP 20PPS PB	<input checked="" type="checkbox"/>	DP 10PPS
	2桁目 応答モード		2 桁目	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	自動応答 手動応答 応答しない	<input checked="" type="checkbox"/>	自動応答
	3桁目 インターホンモードでの応答の有無		3 桁目	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	応答しない 自動切替有りの時だけ応答する 応答する	<input checked="" type="checkbox"/>	応答しない
	4桁目 可変メッセージ使用の有無		4 桁目	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	固定メッセージ使用 可変メッセージ使用	<input checked="" type="checkbox"/>	固定メッセージ
	番号は必ず4桁入力して下さい						

注1. 設置時に消去ボタンを押しながら、電源投入を行うことにより、自動的に初期設定値が登録されます。(電話番号、ID番号、暗証番号はクリアされます)

注2. 変更が必要な項目だけを登録し直して下さい。

特に、登録エリア、A80、A83は登録し直さないと正常に動作しない場合もありますので注意して下さい。


注3. A83の4桁目に①を登録した場合(□□□①：可変メッセージ使用)には、18項、19項に従って可変メッセージの録音、確認を必ず行って下さい。

次の例に従って登録して下さい。

(例1)着信自動応答から復旧までの時間を180秒に設定する時

(1)正面のカバーを開いて下さい。

(2)登録スイッチを書込側に設定して下さい。  
書込ランプが点灯します。

(3)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。


A -

(4)数字ボタンを76と押して下さい。  
A76-と表示されます。

A76-

(5)数字ボタン2を押して下さい。  
A76-の後にAが表示されます。

A76- 2

(6)  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。


A -

(7)これで登録完了です。  
登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示は消え  
書込ランプは消灯します。

(例2)接続されている屋外電話機のNoが1、2、6、7、8の合計5台の時

(1)正面のカバーを開いて下さい。

(2)登録スイッチを書込側に設定して下さい。  
書込ランプが点灯します。

(3)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。


A -

(4)数字ボタンを80と押して下さい。  
A80-と表示されます。

A80-

(5)数字ボタンを12678と押して下さい。  
A80-の後に12678と表示されます。

A80- 12678

(6)  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。

A -


(7)これで登録完了です。  
登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示は消え  
書込ランプは消灯します。

# 17. 電話番号、ID番号、暗証番号、各種データ設定値の確認方法




登録されている電話番号、ID番号等の確認は次の例に従って実施して下さい。

(例1) Cグループ第2宛先の電話番号として、  
044-811-1236が登録されている時



(1)登録スイッチを確認側に設定して下さい。

(2)  ボタンを押して下さい。  
参考表示板にHが表示されます。


H -

(3)数字ボタンを  と押して下さい。  
表示は H   - となり登録エリアを表示しました。


H 3 2 -


(4) H   - の後に電話番号の上位7桁が表示されます。

H 3 2 - 0 4 4 8 1 1 1

(5)再度  ボタンを押して下さい。  
下位3桁が表示されます。

H 3 2 - 2 3 6

 ボタンを押すごとに上位から7桁ずつ表示され、残りが7桁に満たない時は右のように表示されます。


(6)再度  ボタンを押して下さい。  
表示はHに戻ります。

H -




(7)これで確認終了です。  
登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示が消えます。

(例2) 屋外電話機No.2の個別IDコードとして12345\*2が登録されている時



(1)登録スイッチを確認側に設定して下さい。

(2)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にHが表示されます。


H -

(3)数字ボタンを  と押して下さい。  
表示は H   - となり登録エリアを表示します。

H 5 2 -

(4) H   - の後にID番号が表示されます。  
(\*の表示は□、#の表示は□となります)

H 5 2 - 1 2 3 4 5 n 2


(5)再度  ボタンを押して下さい。  
表示はHに戻ります。

H -

(6)これで確認終了です。  
登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示が消えます。

(例3) 暗証番号として1234が登録されている時

(1)登録スイッチを確認側に設定して下さい。

(2)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。


A -

(3)数字ボタンを6と押して下さい。  
表示はA6-となり登録エリアを表示します。

A6-

(4)A6-の後に暗証番号が表示されます。

A6-1234


(5)再度  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。

A -

(6)これで確認終了です。  
登録スイッチを切に戻して下さい。  
全ての表示が消えます。

(例4) インターホン機能での自動切替タイマーが30秒でBグループ呼出に切替わるように設定されている時

(1)登録スイッチを確認側に設定して下さい。

(2)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板にAが表示されます。


A -

(3)数字ボタンを7と押して下さい。  
表示はA7-となり登録エリアを表示します。

A7-

(4)A7-の後に登録されている番号が表示されます。

A7-32

(5)再度  ボタンを押して下さい。  
表示はAに戻ります。

A -

(6)これで確認終了です。  
登録スイッチを「切」に戻して下さい。  
全ての表示が消えます。

## 18. 可変メッセージの録音方法

通報動作時に連絡先へ伝えるメッセージには次の3種類があります。

- I Dコードメッセージ  
「こちらは〇〇〇です」
- 非常通報メッセージ1 (センサー入力1による通報時)  
「こちらは〇〇〇です。異常発生1」
- 非常通報メッセージ2 (センサー入力2による通報時)  
「こちらは〇〇〇です。異常発生2」

通常は上記メッセージの「〇〇〇」の部分だけを0~9、 $\square$ 、 $\square$ の任意の数字16桁以内で自由に構成することができます。

一方〇〇〇の部分に数字だけではなく、具体的な個有名詞を登録することができます。この場合のメッセージは次のようになります。

- I Dコードメッセージ  
「こちらは〇×銀行、 $\square$ △支店です」「〇号機です」※1
- 非常通報メッセージ1 (センサー入力1による通報時)  
「こちらは〇×銀行、 $\square$ △支店です。〇〇に異常」
- 非常通報メッセージ2 (センサー入力2による通報時)  
「こちらは〇×銀行、 $\square$ △支店です。××に異常」

可変メッセージを使用する場合であっても、I Dコード登録エリアであるA51~58、及びA59には、番号(任意)を登録して下さい。

このエリアに何も登録されていない場合には、可変メッセージの発声は行いません。

又、データ設定A83の4桁目には $\square$ を登録して下さい。

( $\square$  $\square$  $\square$  $\square$  : 可変メッセージ使用)

(注)※1. 「〇号機です」は、データ設定A51~58に登録された番号の下1桁を発声します。

又、この部分は可変メッセージとして録音しなくても連絡先が応答すると「こちらは〇×銀行 $\square$ △支店です。〇号機です」という様に流れます。

「〇号機です」の発声が不要の時は下1桁に $\square$ 又は $\square$ を登録して下さい。

可変メッセージの録音は次の例に従って録音して下さい。

(例) I Dコードメッセージ

「こちらは日通工銀行高津支店です」

非常通報メッセージ1

「こちらは日通工銀行高津支店です。ATMに異常」


非常通報メッセージ2

「こちらは日通工銀行高津支店です。〇Dコーナに異常」

を録音する場合

(1)登録スイッチを「書込」側に設定して下さい。

書込ランプが点灯します。

(2)  ボタンを押して下さい。

番号表示板に  $\overline{A}$  が表示されます。

$\overline{A}$

(3) 数字ボタン  $\square$  を押して下さい。

番号表示板に  $\overline{A0}$  と表示されると同時に録音が始まりますのでマイクに向かって「こちらは日通工銀行高津支店です」と発声して下さい。

表示は「P」が表示され録音中を示します。

$\overline{A0}$  P

(4)録音が終了したら $\square$ ボタンを押して下さい。  
「P」の表示が消えます。

A0

(5)数字ボタン①を押して下さい。  
表示はA1に変わり、同時に録音が再開されますのでマイクに向かって「ATMに異常」と発声して下さい。

A1 P

(6)録音が終了したら $\square$ ボタンを押して下さい。

A1

(7)数字ボタン②を押して下さい。  
表示はA2に変わり、同時に録音が再開されますのでマイクに向かって「CDコーナに異常」と発声して下さい。

A2 P

(8)録音が終了したら $\square$ ボタンを押して下さい。

A2

(9)3つのメッセージ全ての録音が終了したら登録スイッチを「切」に戻して下さい。  
全ての表示は消えます。

注1：非常通報メッセージ1、2の前半部分はIDコードメッセージと全く同じものが自動的に録音されますので、何が異常なのかを知らせる後半部分だけを録音して下さい。

注2：非常通報メッセージ1、2が不要の時（センサーを接続しない時）は(5)~(8)をはぶいて下さい。尚、この時にはIDコードメッセージだけに8秒使用することができます。

注3：録音の順序は必ずこの手順通りに実施して下さい。

(A0→A1→A2)の順序

尚、変更の場合どれか1つあるいは2つだけの変更はできませんので必ず3つのメッセージ全てを変更して下さい。


注4：録音時間は、合計(IDメッセージ、非常通報メッセージ1、2)で8秒間です。

## 19. 可変メッセージの確認方法

### 可変メッセージの確認方法

19項で録音した可変メッセージの確認は次の方法で行って下さい。


(1)登録スイッチを「確認」側に設定して下さい。

(2)  ボタンを押して下さい。  
番号表示板に **A** が表示されます。


A

(3)数字ボタン **0** を押して下さい。  
番号表示板に **A0** と表示され、同時にスピーカより「こちらは日通工銀行高津支店です」と録音済のIDコードメッセージが聞こえます。

A0 P

(4)  ボタン、数字ボタン **1** と押して下さい。  
番号表示板に **A1** と表示され、同時にスピーカより「ATMに異常」と録音済の非常通報メッセージ1が聞こえます。

A1 P

(5)  ボタン、数字ボタン **2** と押して下さい。  
番号表示板に **A2** と表示され、同時にスピーカより「CDコーナに異常」と録音済の非常通報メッセージ2が聞こえます。

A2 P

(6)確認が終了しましたら登録スイッチを「切」に戻して下さい。全ての表示は消えます。

## 20. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の確認方法

## 21. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の変更方法

## 22. テレコントロールによる外部出力接点の制御

上記の3項目は取扱説明編の6～8項をご参照下さい。

# 目次(取扱説明編)

※お使いになる前に

このたびは、ガイドホンCD-6をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

ガイドホンCD-6をご使用の前にこの説明書をよくお読みの上正しくお使い下さい。

## 目次

1. 概要	①
2. 各部の名称と働き	②
3. システム構成図	④
4. 構成物品	④
5. 機能および動作概要	⑤
5-1 ガイドホン機能	⑤
1. 屋外電話機からセンターを呼出す場合	⑥
2. センターから屋外電話機を呼出す場合	⑥
5-2 インターホン機能	⑦
1. 屋外電話機から屋内電話機を呼出す場合	⑦
2. 屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合	⑦
5-3 センサー入力検出の動作	⑧
6. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の確認方法	⑨
7. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の変更方法	⑩
8. テレコントロールによる外部出力接点の制御	⑩
9. 電池の交換	⑩
10. 注意と禁止事項	⑬
11. アフターサービスについて	⑬

# 1. 概要

ガイドホンCD-6(以下本装置という)は、一般加入電話回線に接続して使用され、CD(現金自動支払機)、ATM(現金自動預金払出機)等の無人機器の故障時、操作上の問合せ時に屋外電話機を操作することにより、あらかじめ記憶している所定の通報先へ自動的にダイヤルして緊急連絡を行う装置です。

通報先は、呼出モード設定ボタン等により、Aグループ、Bグループ、Cグループの3グループのいずれかを指定でき、各グループにはそれぞれ3宛先を設定することができます。(以上ガイドホン機能)

また、屋外電話機と屋内電話機の相互通話を行うこともできます。(インターホン機能)

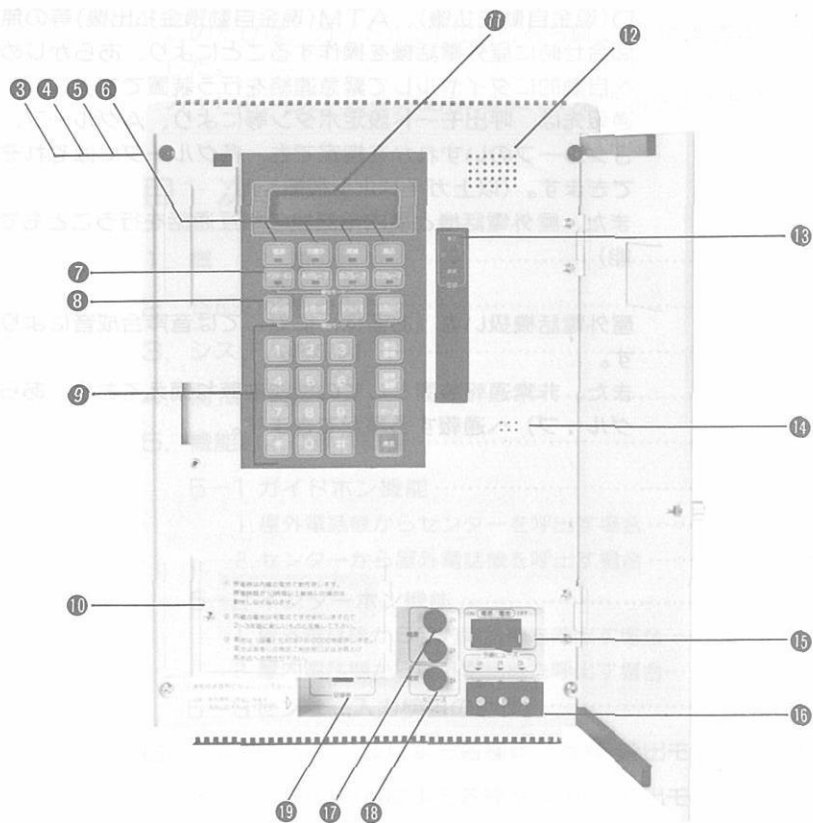
屋外電話機扱い者(お客様)に対しては音声合成音により操作のガイダンスを行います。

また、非常通報装置としての機能を兼ね備えており、あらかじめ登録された3宛先(Dグループ)へ通報する事ができます。

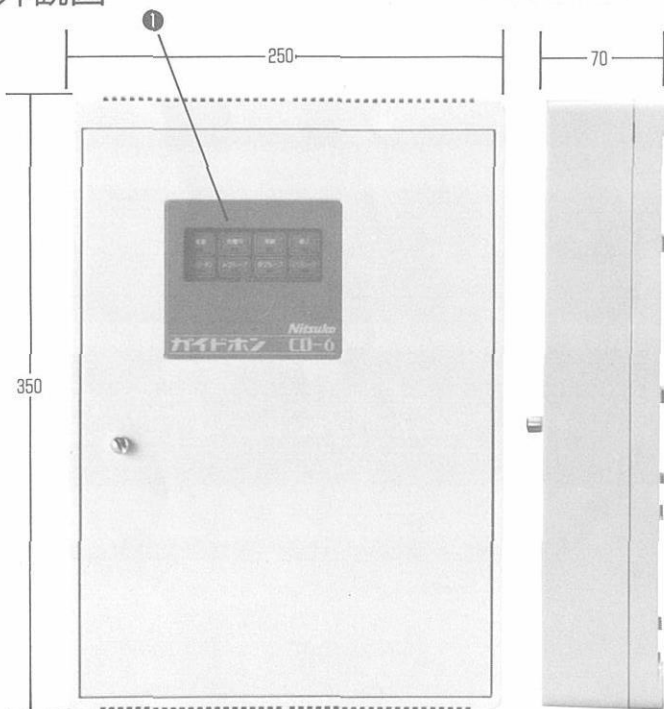
## 2. 各部の名称とはたらき

### 内観図

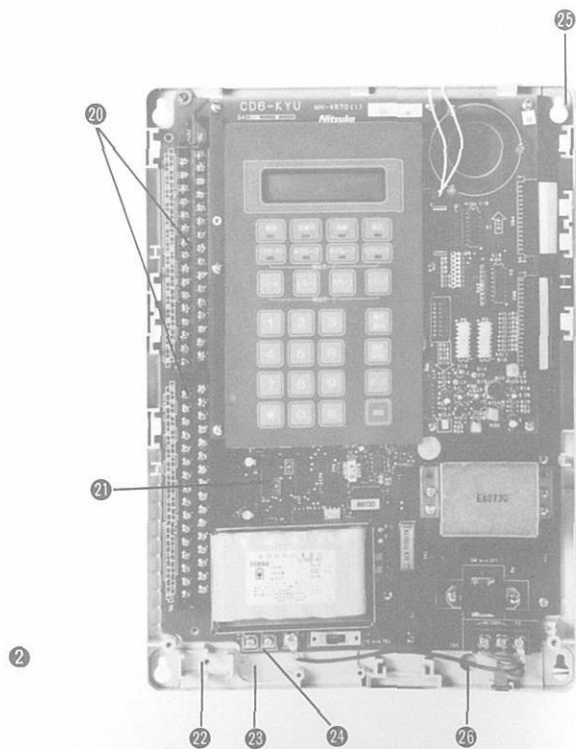
カバーを開いた状態



### 外観図



### 内蔵図 上ケースを外した状態



### ① 監視窓

カバーを閉めた状態で内蔵のランプを見ることができ、現在の呼出モードの状態や、通電状態等の確認ができます。

### ② 電源コード

夜間、休日等に切断されることがなく24時間連続使用ができるAC100Vコンセントに接続して下さい。

### ③ 電源ランプ

AC100V電源が供給されている時点灯します。停電時は消灯します。

### ④ 充電中ランプ

内蔵の充電電池に正常充電している時点灯します。停電時は消灯します。電源ランプが点灯で、このランプが消灯の時は、充電電池の異常が考えられます。

### ⑤ 局線ランプ

本装置が動作して、電話回線を使用している間点灯します。

### ⑥ 書込ランプ

電話番号等を登録・変更する時：登録スイッチを「書込」側にすると点灯します。

### ⑦ 呼出動作モード表示ランプ

インターホン呼出、Aグループ呼出、Bグループ呼出、Cグループ呼出の4つの呼出モードの中から運用する動作モード状態を点灯表示します。

### ⑧ 呼出モード設定ボタン

呼出動作モードを変更する時にこのボタンを押して下さい。

### ⑨ 操作キー

電話番号、IDコード、暗証番号、各種データ設定値の登録時及び確認時に使用します。

### ⑩ 充電電池収納部

停電時の動作のための充電電池が収納されています。

### ⑪ 番号表示部

電話番号、IDコード等の登録時及び確認時に番号が表示されます。

### ⑫ スピーカ

可変メッセージの確認時に使用します。

### ⑬ 登録スイッチ

電話番号、IDコード等の登録をする時（「書込」側にする）及びそれらを確認する時（「確認」側にする）に使用します。

### ⑭ マイク

可変メッセージの録音時に使用します。

### ⑮ 電源スイッチ

### ⑯ 予備ヒューズ（3本）

#### ⑰ 電源ヒューズ

250V2.0A(MF51NN 250V2.0A：JIS C-6575相当)の筒形ガラス管ヒューズを使用します。

#### ⑱ 電池ヒューズ

250V2.0A(MF51NN 250V2.0A：JIS C-6575相当)の筒形ガラス管ヒューズを使用します。

### ⑲ 切替器

本装置を電話回線より切り離すためのスイッチです。常にスイッチを「装置」側にしておいて下さい。スイッチが「電話」側にあると連絡動作ができません。

### ⑳ 入出力端子板

電話機等を接続する為の端子板です。

### ㉑ 増設装置接続用コネクタ

増設装置を接続する為のコネクタです。2つ用意されています。

### ㉒ コード押え

### ㉓ 裏面入線穴

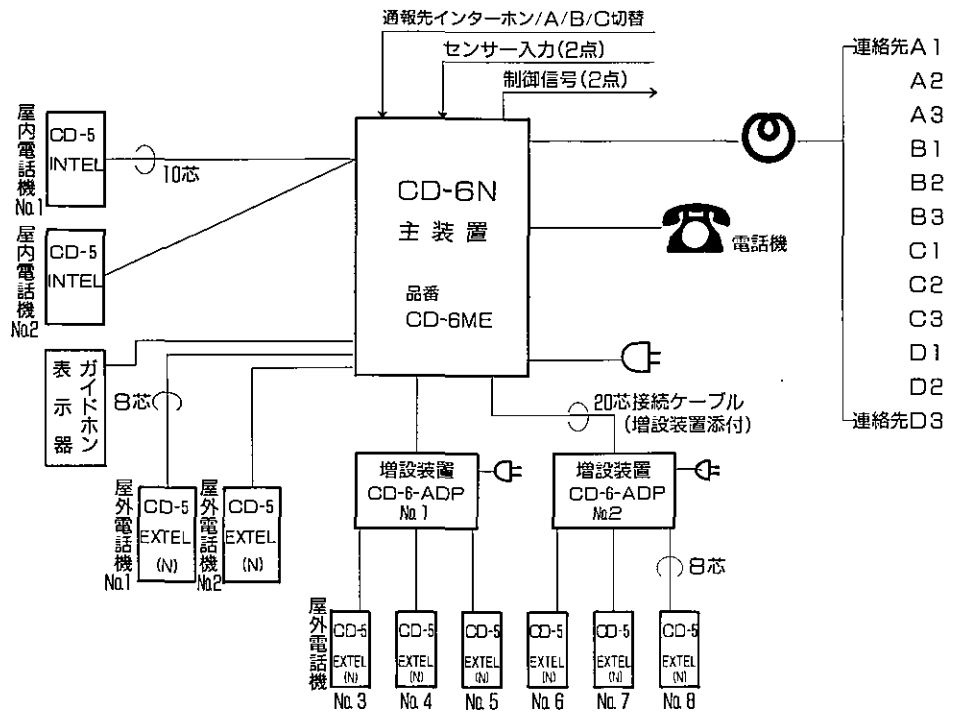
### ㉔ 電話回線接続端子

電話回線を接続する為の端子板です。

### ㉕ 壁掛用穴（4ヶ所）

### ㉖ 電源コード裏面入線穴

### 3. システム構成図



### 4. 構成物品

区分	品名	数量	記事
機 器	CD-6N主装置	1	
	CD-5屋内電話機	最大 2	屋内電話機用
	CD-5(N)屋外電話機	最大 8	屋外電話機用
	CD-6 増設装置	最大 2	
	表 示 器	1	
添 付 品	総合説明書	1	
	接続請求書	1	
	保証書	1	
	ヒューズ	3	MF51NN 250V2.0A (JIS C-6575相当)
	壁掛工事用シート	1	
	木ネジ	4	主装置用/電話機用
	スタット	4	主装置用
工事用品	配線ケーブル	必要数	0.4φ以上の電話用屋内線 1.6φ1Vアース線等 2×1.2φ1Vアース線等

## 5. 機能および動作概要

本項目により動作確認を行う前に工事説明編13～16項により電話番号等の登録を行って下さい。

本文中\_\_\_\_\_部は選択項目であり、工事説明編16項により設定します。尚、下記のA□□は、データ設定の登録エリアを示しています。

### 5-1. ガイドホン機能

(呼出モードをAグループ、Bグループ、Cグループのいずれかとして使用する)

#### 1. 屋外電話機から所定の連絡先(管理センター、警備会社、etc)を呼出す場合

- (1)屋外電話機の受話器を外すと「ご使用になっている電話機の呼出しボタンを押して下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。
- (2)呼出しボタンを押すと、「ただ今連絡しております。受話器をもったまましばらくお待ち下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。
- (3)設定されている呼出モードに従い、Aグループ、Bグループ、Cグループのいずれかの第1宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

※データ設定A70により選択—————(4)第1宛先が所定時間(30秒又は60秒を選択)呼出ししても応答しない時には、1度電話回線を開放し、15秒の休止時間の後、第2宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

※データ設定A71により選択—————(5)第2宛先が所定時間(30秒又は60秒を選択)呼出ししても応答しない時には、1度電話回線を開放し、15秒の休止時間の後、第3宛先に登録されている電話番号を自動的にダイヤルし連絡先を呼出します。

(6)第3宛先も所定時間(60秒固定)呼出ししても応答しない時には、電話回線を開放し呼出動作を終了します。

(7)前項の中で、第1宛先～第3宛先のいずれかが応答した場合には、通話に先立ちどこからの通報であるかを知らせるためのIDコードを伝えます。

IDコードは、

※データ設定A81により選択————— 音声、符号、符号+音声の3つの方式から1つを選択します。

音 声：「こちらは〇〇〇〇です」と音声合成音で伝える方式

符 号：音声の場合の〇〇〇〇の部分だけをMF信号で伝える方式

符号+音声：〇〇〇〇とMF信号を送出し、続けて「こちらは〇〇〇〇です」と音声合成音も送出する方式

〇〇〇〇：0～9、#、\*であり、音声の場合#、\*が設定されている時は「の」を発声します。

例：123#4が設定されていて音声の時のIDコードは「こちらはイチ、ニ、サン、のヨン です」となります。

※データ設定A83により選択————— またIDコードは「こちらは〇〇〇の〇です」という固定メッセージの他に「こちらは〇×銀行△□支店です」という可変メッセージを伝えることもできます。

(8)連絡先にIDコード送出中は、屋外電話機扱い者には呼出音を聞かせます。

(9)IDコード送出が終了すると、屋外電話機扱い者と連絡先との間で通話が可能となります。

※データ設定A77により選択—————(10)通話開始から所定時間(10分、20分、30分のいずれかを選択)経過すると終話予告音(ピー)が鳴り出します。鳴っている最中に屋外電話機の呼出しボタンを押してもらうか、MF信号「#」を入力すると、音は鳴り止み通話時間が延長されます。がそうでない時には、終話予告音が16回(約30秒)鳴った後で強制的に電話回線を開放致します。※本機能(：長時間通話監視)を動作させないことも可能です。

(11)通話の延長時間は、通話開始から監視する所定時間(10分、20分、30分のいずれか選択)と同じになります。

また、通話延長は何度でも行うことができます。

(12)使用されている屋外電話機の「使用中」ランプは及び、他の屋外電話機の「使用中」ランプは点灯します。

(13)「使用中」ランプが点灯している屋外電話機の受話器を外すと「ただ今使用中です。受話器をもとに戻し使用中ランプが消えてからおかけ直し下さい」というメッセージを屋外電話機のスピーカから伝えます。

※データ設定A83により選択——— 2. 連絡先(管理センター、警備会社、etc)から屋外電話機を呼出す場合  
連絡先(以下発呼者)からの呼出しに対し、次の3通りの応答モードのうちからいずれかを選択します。

- 自動応答モード
- 手動応答モード
- 応答しないモード

それぞれ次の動作となります。

#### 《自動応答モード》

呼出は、音声による一斉呼出と個別呼出、ベルによる一斉呼出と個別呼出の4通りが可能です。

- ※データ設定A73により選択———
- (1)着信信号を検出するとガイドホンは自動的に応答し、IDコード「こちらは〇〇〇です」を送出し、つづいて「暗証番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。(暗証番号を間違えた時は、を押して改めて暗証番号を入力して下さい。)
  - 着信検出から自動応答までの時間は、0、10、20、30秒からいずれかを選択します。
  - この時のIDコードは必ず音声で送出します。
  - (2)30秒以内に暗証番号が入力されない場合には電話回線を開放します。(但し、本装置にあらかじめ暗証番号を登録していない場合は、屋外電話機の一斉呼出となる。)
  - (3)入力された暗証番号が一致した場合には、「番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。
  - (4)音声による呼出をする場合には～又はとMF信号を入力します。～の時には2桁目の番号に対応する屋外電話機を、の時は全ての屋外電話機を音声呼出します。
  - (5)発呼者へは「ピンポン」という呼出音が1度だけ返りますのでそのままお客様をお呼び下さい。
  - (6)屋外電話機のスピーカからは「ピンポン」という呼出音につづいて、音声が届きます。
  - (7)屋外電話機を受話器を外すことにより相互通話が可能となります。

- ※データ設定A76により選択———
- (8)屋外電話機を受話器が外されない時には、所定時間(30、60、180、360秒)経過後に電話回線を開放します。  
また途中で強制的に復旧させたい場合にはと入力します。
  - (9)4項でベルによる呼出をする場合には～又はとMF信号を入力します。  
～の時には2桁目の番号に対応する屋外電話機を、の時は全ての屋外電話機をベル呼出します。
  - (10)発呼者へは呼出音が返りますので、そのままお客様が応答するのを待ちます。
  - (11)屋外電話機はベルが鳴動します。
  - (12)屋外電話機を受話器を外すと相互通話が可能となります。
  - (13)屋外電話機を受話器が外されない時には、所定時間(30、60、180、360秒)経過後に呼出をやめ、電話回線を開放します。  
また途中で強制的に復旧させたい場合には呼出音が鳴っていない時にと入力します。

#### 《手動応答モード》

呼出しはベルによる一斉呼出のみとなります。

- (1)着信信号を検出すると全ての屋外電話機のベルが鳴動します。
- (2)いずれかの屋外電話機を受話器を外すことにより相互通話が可能となります。(以後は5-1-1(10)以後と同じ)

#### 《応答しないモード》

- (1)着信信号を検出しても何も行きません。通常の電話機を接続してあれば、この電話機のベルが鳴動します。

## 5-2. インターホン機能

### 1. 屋外電話機から屋内電話機を呼出す場合

(1)屋外電話機の受話器を外すと「ご使用になっている電話機の呼出しボタンを押して下さい」というメッセージを屋外電話機扱い者に伝えます。

(2)呼出しボタンを押すと、屋内電話機のベルが鳴動し、屋外電話機扱い者には呼出音が聞こえます。

(3)屋内電話機の受話器を外すことにより相互通話が可能となります。

(4)一定時間呼出ししても屋内電話機側が応答しない時には自動的にガイドホン機能に切替えることができます。

時間は（10、15、20、30秒）のいずれかを選択できます。

※データ設定A72により選択———この機能を自動切替タイマーと言い時間は次のようになります。

有				無
10秒	15秒	20秒	30秒	

(5)所定時間経過後はガイドホン機能となり、5-1-1(3)以後の動作を行います。

(6)通話が終了し電話回線を開放すればインターホン機能に戻ります。

### 2. 連絡先(管理センター、警備会社、etc)から屋外電話機を呼出す場合

#### 3種類の応答モード

※データ設定A83により選択———

- 自動応答モード
- 手動応答モード
- 応答しないモード

と次の3種類のモードとの組み合わせとなります。

- 応答する
- 自動切替タイマー有りの時だけ応答する
- 応答しない

この中で「応答する」を選択した時には、インターホン機能であってもガイドホン機能の時と全く同じ応答形式となります。

「自動切替タイマー有りの時だけ応答する」を選択した時には、インターホン機能の時に限り、12-2-1(4)で「自動切替タイマー」を「有」としたときにガイドホン機能の時と同じ応答形式となり「無」とした時には、全く応答しないこととなります。

「応答しない」を選択した時には、インターホン機能の時には全く応答しないこととなります。

すなわち、インターホン機能の時に応答させる為には、ガイドホン機能の時の応答モードで、「自動応答モード」又は「手動応答モード」のいずれかを選択する必要があります。

「応答しないモード」を選択すると

ガイドホンモード、インターホンモードいずれの時も着信信号を検出しても何も行いません。

### 3. 屋内電話機から屋外電話機を呼出す場合

この場合は、ガイドホン機能、インターホン機能どちらの場合も同じ動作となります。

呼出しに対し、次の2つのモードのうちいずれかを選択します。

※データ設定A82により選択

音声呼出モード  
ベル呼出モード) ※データ設定No.13に設定

それぞれ次の動作をします。

#### (音声呼出モード)

- (1)屋内電話機の手話機を外し、呼出しボタンを押して下さい。
- (2)「ピンポーン」という呼出音が聞こえますので、そのまま続けてお客様をお呼び下さい。
- (3)全ての屋外電話機のスピーカからは「ピンポーン」という呼出音に続いて、音声がかかります。
- (4)いずれかの屋外電話機の手話機を外すことにより相互通話が可能となります。

#### (ベル呼出モード)

- (1)屋内電話機の手話機を外し、呼出しボタンを押して下さい。
- (2)屋内電話機の手話機からは呼出音が聞こえます。
- (3)全ての屋外電話機のベルが鳴動します。
- (4)いずれかの屋外電話機の手話機を外すことにより相互通話が可能となります。

## 5-3. センサー入力検出時の動作

この場合も、ガイドホン機能、インターホン機能どちらの場合も同じ動作となります。センサー入力接点は2系統(S1、S2)あり、いずれも無電圧メーク接点のものを使用します。

※データ設定A78により選択

入力検出遅延時間は0、5、10、30秒の中からいずれか1つを選択します。

- (1)設定した遅延時間以上連続して入力があった時に通報動作を開始します。
- (2)連絡先は、呼出モードがいかなる場合であってもログループだけになります。
- (3)呼出はログループの3宛先を3サイクル呼出し、この間に宛先が応答したなら、次のメッセージを伝えます。  
「こちらは〇〇〇です 非常発生イチ(又はニ)」(S1:イチ、S2:ニとなる)  
ここで〇〇〇はIDコードとして登録している番号です。  
また、次の様な可変メッセージを伝えることもできます。  
※データ設定A83により選択 「こちらは〇×銀行□△支店です。ATMに非常発生」ここで\_\_\_\_部はIDコードとして伝えるメッセージです。

(4)メッセージは連絡先が先に電話を切るまで、又は最大20回伝えます。

(5)符号で送出するモードの時は

〇〇〇@11(S1の時)、□□□@22(S2の時)を1回だけ送出します。

## 6. テレコントロールによる各種登録番号、呼出モード等の確認方法

連絡先（以下発呼者）からの呼出に対し、自動応答モードが選択されている時は、発呼者がMF信号を入力することにより各種登録番号、呼出モード等を音声合成音により確認することができます。

次の手順に従って確認して下さい。

- (1)着信信号を検出するとガイドホンは自動的に応答し、IDコード「こちらは〇〇〇です」を送出し、つづいて「暗証番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。
- (2)入力された暗証番号が、あらかじめ登録されている番号と一致した場合には「番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。(暗証番号を間違えた時は $\square$ を押して、改めて暗証番号を入力して下さい。

(3) $\square$ を入力して下さい

(4)「番号を入力して下さい」というメッセージを伝えます。

(5) $\square$  $\square$ と入力して下さい。但しここで下2桁は、確認したい番号が登録されている、登録エリアの番号です。

※登録エリアについては、工事説明編13～16項を参照下さい。

(6)入力された下2桁の番号に対して次のメッセージを伝えます。

①①～①③：電話番号A1（～A3）確認です。

②①～②③：電話番号B1（～B3）確認です。

③①～③③：電話番号C1（～C3）確認です。

④①～④③：電話番号D1（～D3）確認です。

⑤①～⑤⑩：ID番号1（～0）確認です。

⑥⑩：暗証番号確認です。

⑦⑩～⑦⑨：番号70（～79）確認です。

⑧⑩～⑧③：番号80（～83）確認です。

⑨⑩：呼出モード確認です。

(7)上記メッセージに続いて、登録されている番号を音声合成音により伝えます。（〇〇〇〇です）但し、 $\square$ と入力された時（呼出モードの確認時）は「インターホンです」「Aグループです」「Bグループです」「Cグループです」のいずれかのメッセージを伝えます。

(8)登録されている音声に続いて、最初に入力された下2桁の番号に対応して次のメッセージを伝えます。

①①～①③：電話番号A1（～A3）確認終了しました。

②①～②③：電話番号B1（～B3）確認終了しました。

③①～③③：電話番号C1（～C3）確認終了しました。

④①～④③：電話番号D1（～D3）確認終了しました。

⑤①～⑤⑩：ID番号1（～0）確認終了しました。

⑥⑩：暗証番号確認終了しました。

⑦⑩～⑦⑨：番号70（～79）確認終了しました。

⑧⑩～⑧③：番号80（～83）確認終了しました。

⑨⑩：呼出モード確認終了しました。

(7)確認が終了しましたら $\square$ と入力して下さい。

局線を開放します。

次の具体的例に従って確認して下さい。

〔例1〕Aグループ第3宛先に登録してある電話番号123-4567を確認する時

(1)暗証番号を入力するまでは前記と全く同じ手順です。

(2)暗証番号を入力すると「番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。

(3) $\square$ を入力して下さい。

(4)「番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。

(5) $\square$  $\square$ と入力して下さい。

(6)「電話番号A3確認です」というメッセージが聞こえます。

(7)「イチ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロク、ナナです」と登録されている番号が聞こえます。

(8)「電話番号A3確認終了しました」というメッセージが聞こえます。

(9) $\square$ と入力して下さい

局線を開放します。

- (例2) 屋外電話機No.5のIDコード(567☒5を設定)長時間通話監視時間(30分設定)と、呼出モード(インターホンモード設定)を連続して確認する時
- (1) 暗証番号を入力するまでは前記と全く同じ手順です。
  - (2) 暗証番号を入力すると「番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
  - (3) ☒を入力して下さい
  - (4) 「番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
  - (5) ☒☒☒☒と入力して下さい。
  - (6) 「ID番号5確認です」というメッセージが聞こえます。
  - (7) 「ゴ、ロク、ナナのゴです                      れているID番号が聞こえます。
  - (8) 「ID番号5確認終了しました」というメッセージが聞こえます。
  - (9) ☒☒☒☒と入力して下さい。
  - (10) 「番号77確認です」というメッセージが聞こえます。
  - (11) 「ニです」と登録されている番号が聞こえます。
  - (12) 「番号77確認終了しました」というメッセージが聞こえます。
  - (13) ☒☒☒☒と入力して下さい。
  - (14) 「呼出モード確認です」というメッセージが聞こえます。
  - (15) 「インターホンです」と現在の呼出モードが聞こえます。
  - (16) 「呼出モード確認終了しました」というメッセージが聞こえます。
  - (16) ☒☒☒☒と入力して下さい  
局線を開放します。

注) テレコントロールの機能は、主装置に暗証番号を登録していないとご使用になれません。



次の具体的な例に従って変更して下さい。

(例1) Bグループ第2宛先に登録してある電話番号を456-7890と変更する時

- (1)~(4)までは6項(例1、2)と全く同じです。
- (5)☎222と入力して下さい。
- (6)「電話番号B2変更です。番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
- (7)456789☎と入力して下さい。
- (8)「確認です。ヨン、ゴ、ロク、ナナ、ハチ、キュウ、ゼロ、です」と今、入力した番号が音声合成音で聞こえます。
- (9)☎と入力して下さい。
- (10)「電話番号B2変更終了しました」というメッセージが聞こえます。
- (11)☎☎☎と入力して下さい。  
局線を開放します。

(例2) 屋外電話機No.1のIDコードを345に、自動切替タイマーを「インターホン15秒呼出→Aグループ」に、IDコード送出回数を3回に、連続して変更する時。

- (1)~(4)までは6項(例1、2)と全く同じです。
- (5)☎251と入力して下さい。
- (6)「ID番号1変更です。番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
- (7)345☎と入力して下さい。
- (8)「確認です。サン、ヨン、ゴです」と、今、入力した番号が音声合成音で聞こえます。
- (9)☎と入力して下さい
- (10)「ID番号1変更終了しました」というメッセージが聞こえます。
- (11)☎272と入力して下さい。
- (12)「番号72変更です。番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
- (13)11☎と入力して下さい。
- (14)「確認です。イチ、イチ、です」と、今、入力した番号が音声合成音で聞こえます。
- (15)☎と入力して下さい
- (16)「番号72変更終了しました」というメッセージが聞こえます。
- (17)☎27☎と入力して下さい。
- (18)「番号79変更です。番号を入力して下さい」というメッセージが聞こえます。
- (19)3☎と入力して下さい。
- (20)「確認です。サンです」と、今、入力した番号が音声合成音で聞こえます。
- (21)☎と入力して下さい。
- (22)「番号79変更終了しました」というメッセージが聞こえます。
- (23)☎☎☎と入力して下さい。  
局線を開放します。

## 8. テレコントロールによる、外部出力接点の制御

連絡先（以下発呼者）からの呼出しに対し、自動応答モードが選択されている時は、発呼者がMF信号を入力することにより、外部に接続するスピーカの制御を行うことができます。

次の手順に従って制御して下さい。

(1)～(4)までは6項と全く同じです。

(5) ⑤③①と入力して下さい。但し、ここで下1桁が制御するものになります。

①：O<sub>1</sub>リレーを1秒間ON

②：O<sub>2</sub>リレーを1秒間ON

③：外部への音声送出の為のリレーをON

④：外部への音声送出の為のリレーをOFF

(6) ⑤④③と入力して下さい。

局線を開放します。

注) テレコントロールの機能は、主装置に暗証番号を登録していないとご使用になれません。

## 9. 電池の交換

ガイドホンCD-6には、停電又は故意の電源断に備える為の充電電池が実装されています。

電池の寿命、品種、取替え方法等は次の通りです。

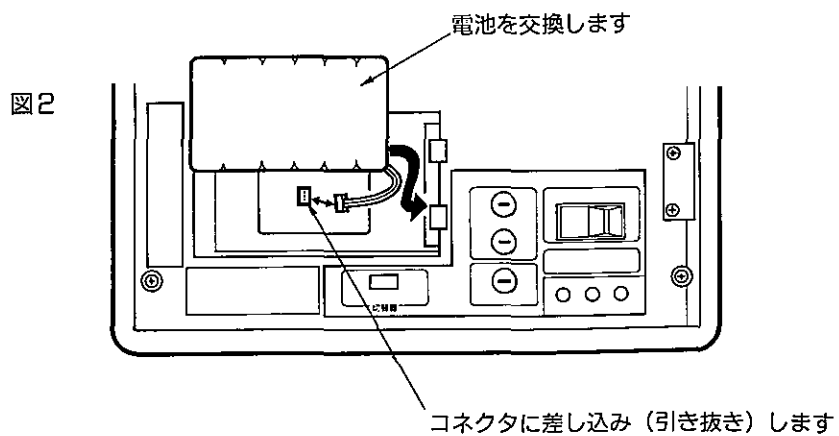
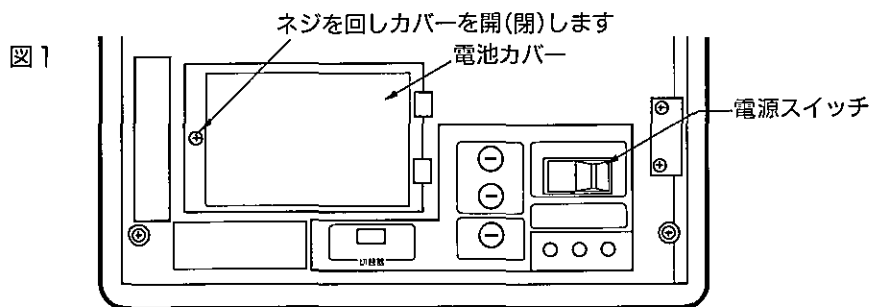
〈充電電池について〉

- 完全充電に要する時間は約100時間です。従って主装置の電源プラグはコンセントから絶対に抜かないで下さい。
- 電池は充分充電された状態で5時間の停電に耐える容量をもっています。
- 電池の寿命はおよそ2～3年ですが、停電時の動作を確実にこなせる為、2年毎に交換して下さい。
- 電池の規格は次の通りですが、品種、価格、購入方法等については当社取扱店までお問合せの上、早めに手配して下さい。

電池規格 14.4V (1.2V×12本)500mAH

〈交換方法〉

- ①主装置の表面にありますツマミを回し、カバーを開けますと、図1の部分が見えます。
- ②電源スイッチをOFFにします。
- ③電池カバーのネジを回し、電池カバーを開けます。
- ④図2のように電池を引き出し、コネクタを抜きます。
- ⑤直ちに新しい電池のコネクタを差し込んで交換して下さい。
- ⑥以後、元通りにする為④→③→②→①の手順で元通りにして下さい。



## 10. 注意と禁止事項

- 指定以外のヒューズは絶対に使用しないで下さい。  
故障及び事故の原因になります。
- 主装置や電話機、コード等には水など絶対にかけないで下さい。
- ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品でふいたりしないで下さい。

## 11. アフターサービスについて

### (1)保証書（別に添付してあります）

保証書は当社取扱店からお渡しいたしますので、購入日などの記入事項をお確かめになり、内容をよくお読みの上大切に保存して下さい。

保証期間は、ご購入の日から1年間です

### (2)故障等で修理を依頼される時は、下記の点をお調べの上、なお異常のある場合には、当社取扱店にご連絡下さい。

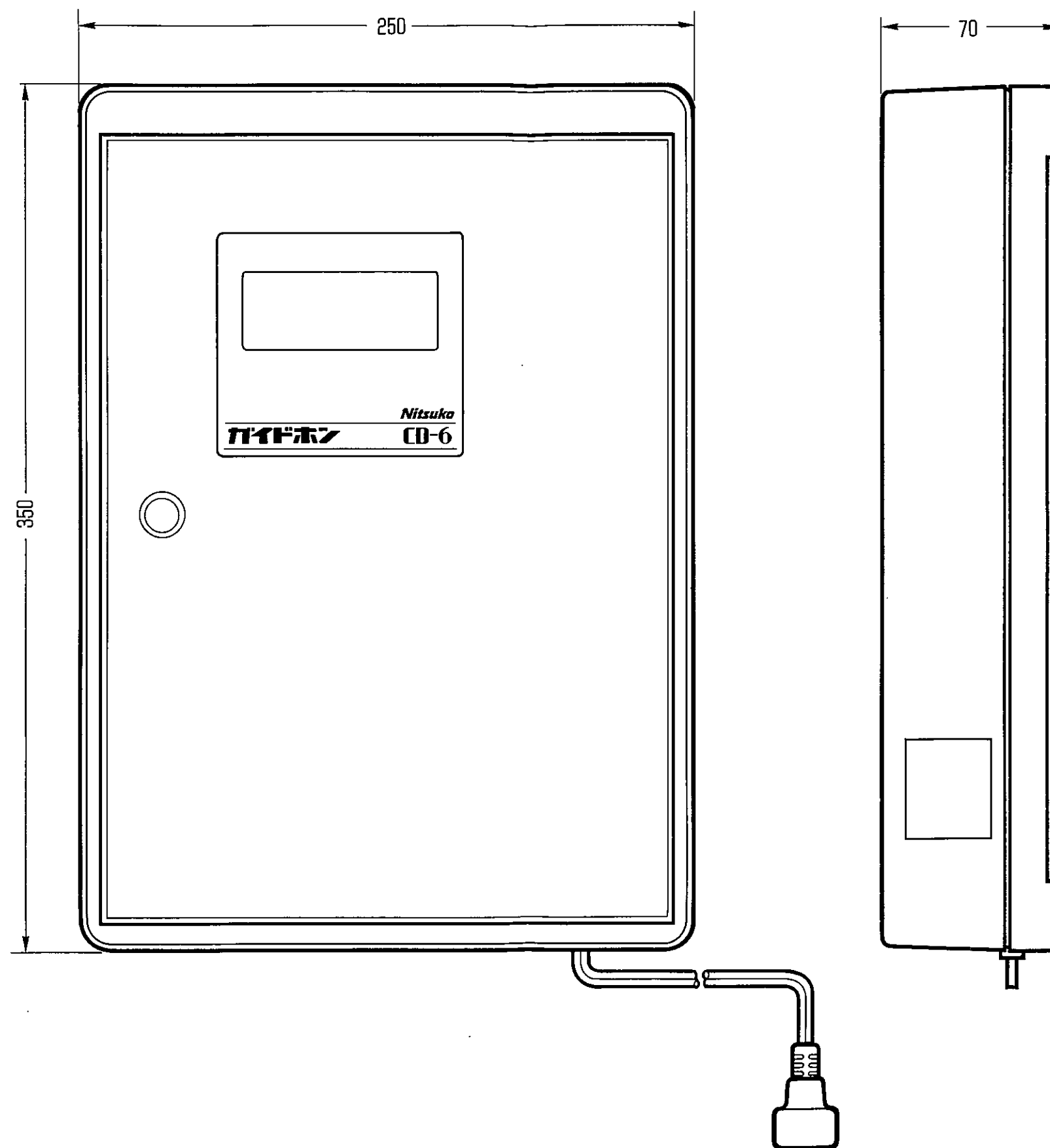
- 電源コードがコンセントから抜けていませんか。
- ヒューズが切れていませんか。
- 切替器は「装置」側になっていますか。(通常は「装置」側にセットされています)

### 〈連絡していただきたい内容〉

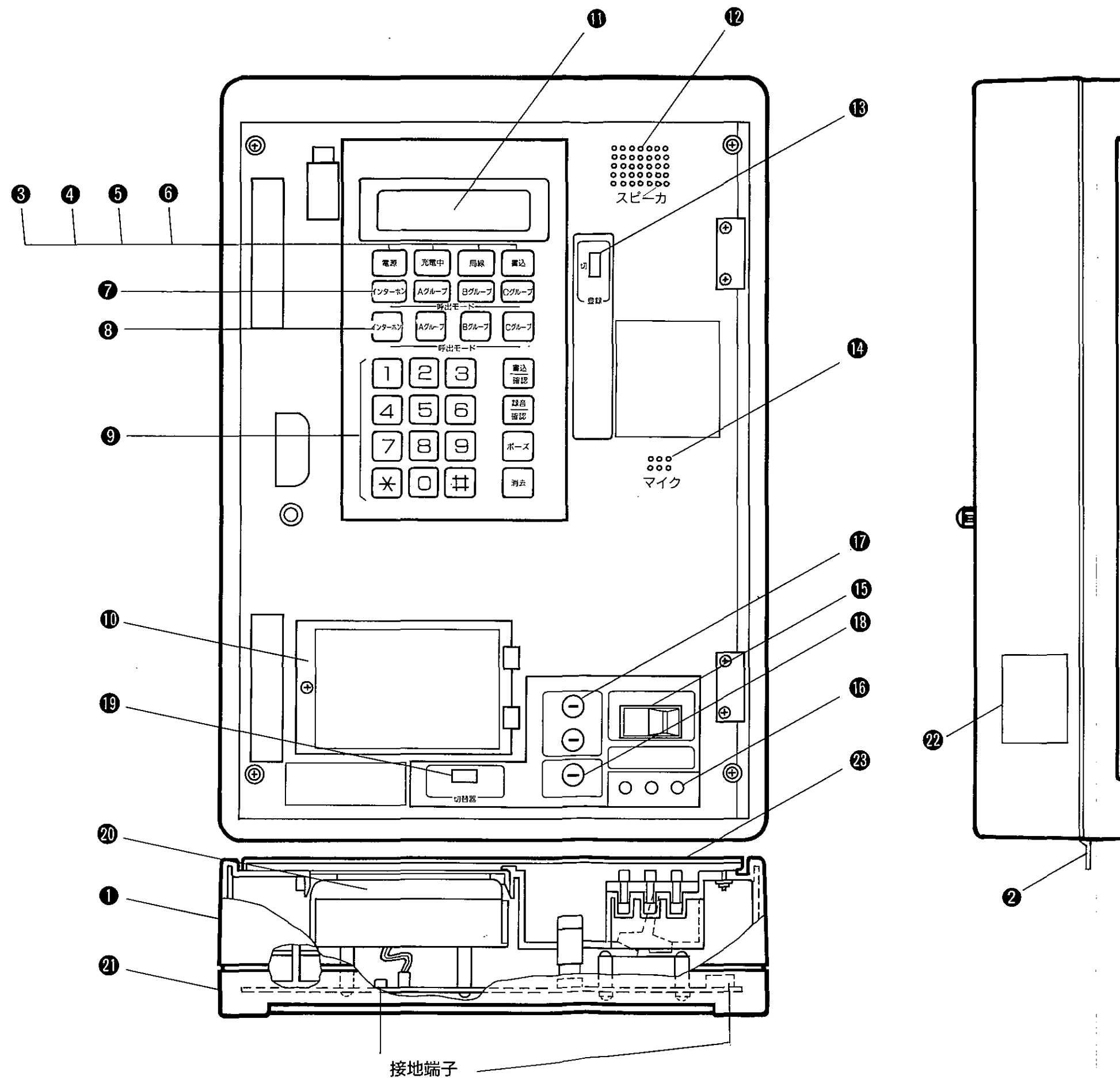
- ご住所・ご氏名(事業所)・電話番号
- ご購入日（保証書をごらん下さい）
- 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

### (3)その他ご不明な点は当社取扱店にお問合せ下さい。

ガイドホンCD-6N主装置外観図



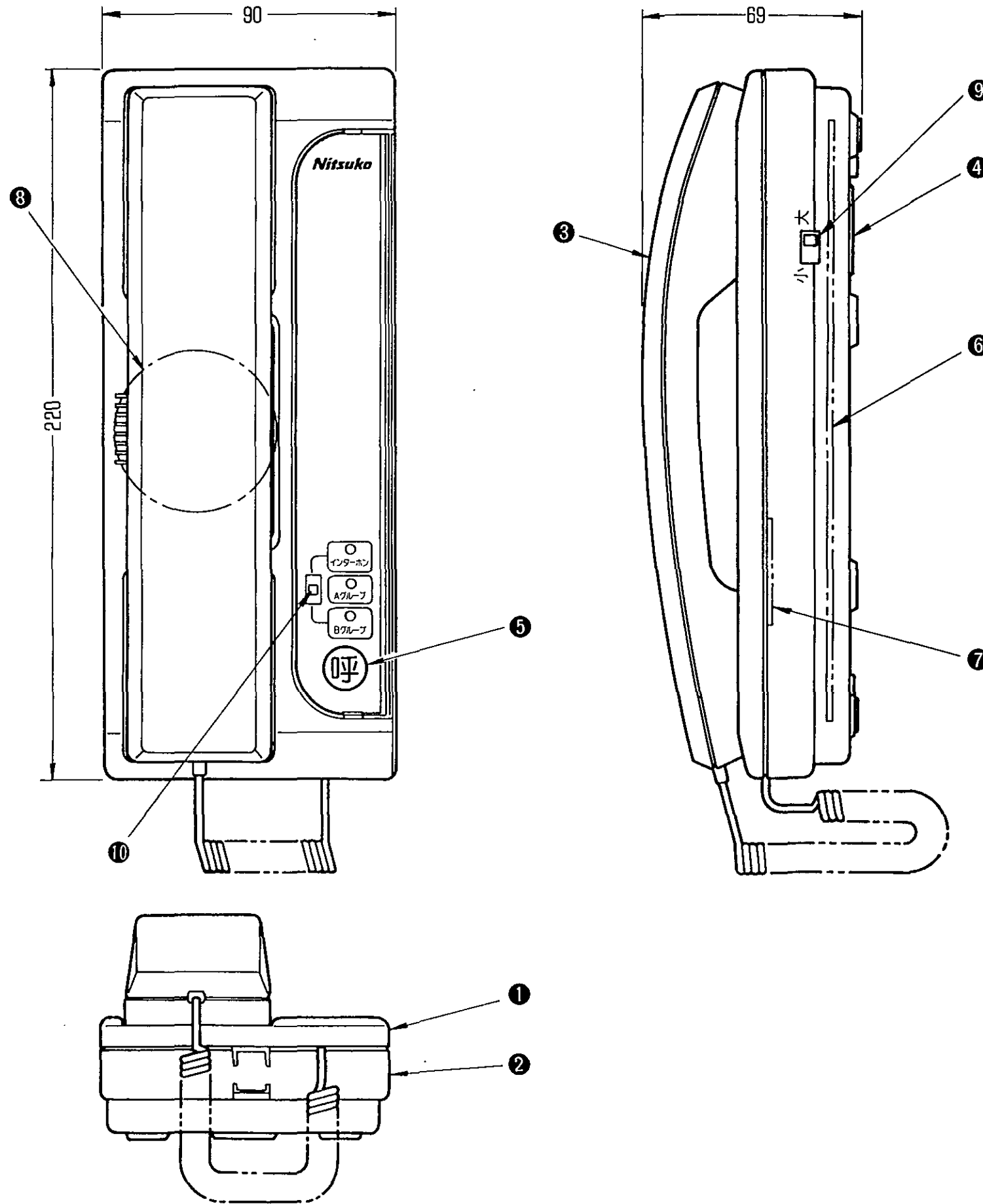
# ガイドホンCD-6N主装置構造図



番号	名称	数量
1	ハウジング	1
2	電源コード	1
3	電源ランプ	1
4	充電中ランプ	1
5	局線ランプ	1
6	書込みランプ	1
7	呼出モード表示ランプ	4
8	呼出モード設定スイッチ	4
9	操作キー	16
10	充電電池収納部	1
11	番号表示部	1
12	スピーカ	1
13	登録スイッチ	1
14	マイク	1
15	電源スイッチ	1
16	予備ヒューズ	3
17	電源ヒューズ	2
18	電池ヒューズ	1
19	切替器	1
20	電池	1
21	ベース	1
22	認定ラベル	1
23	カバー	1
24	その他組立部品	1式

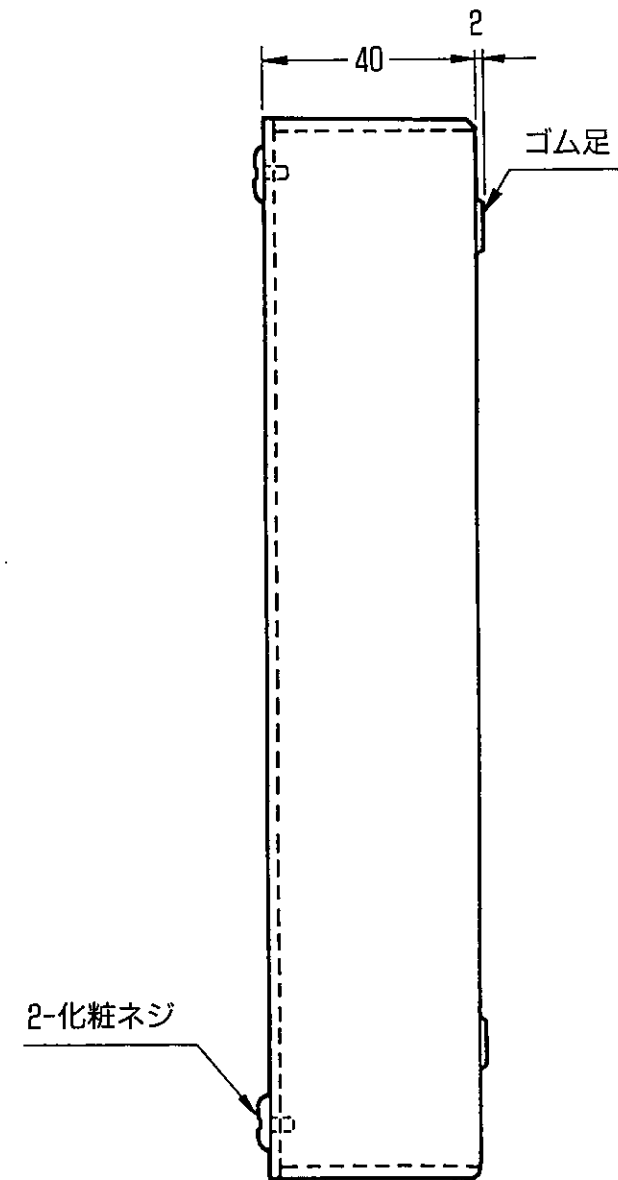
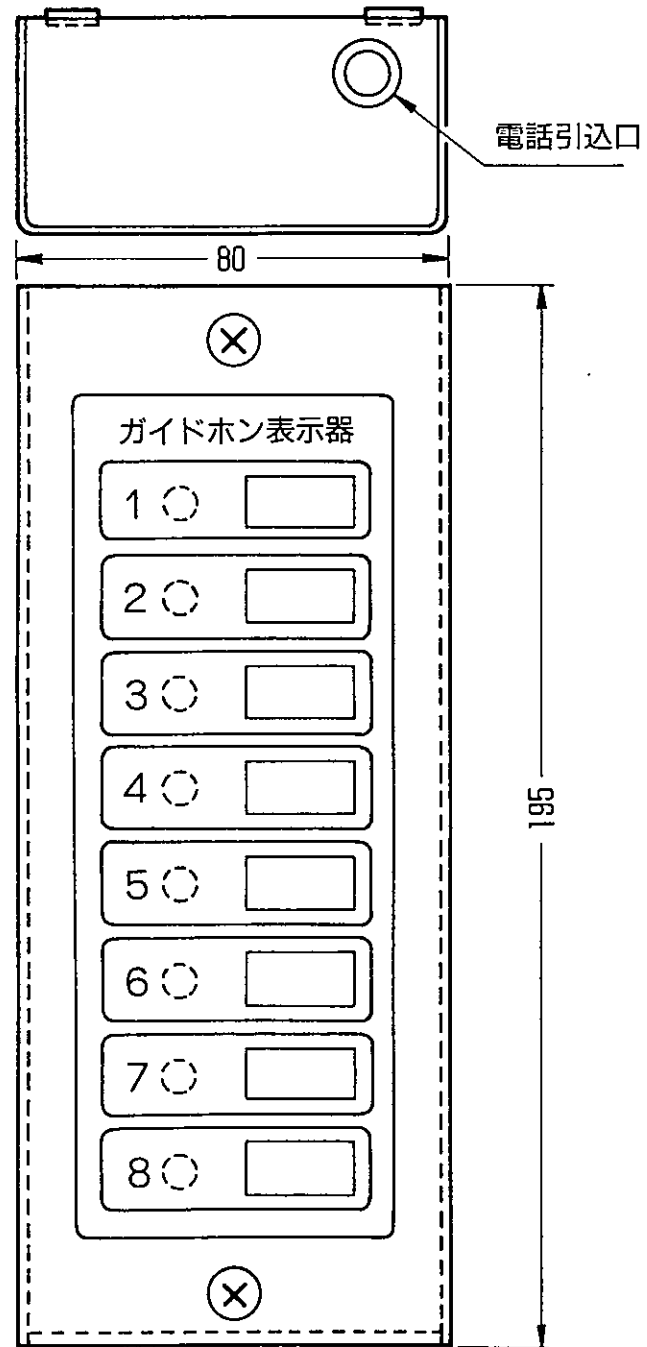


ガイドホンCD-5屋内電話機外観構造図

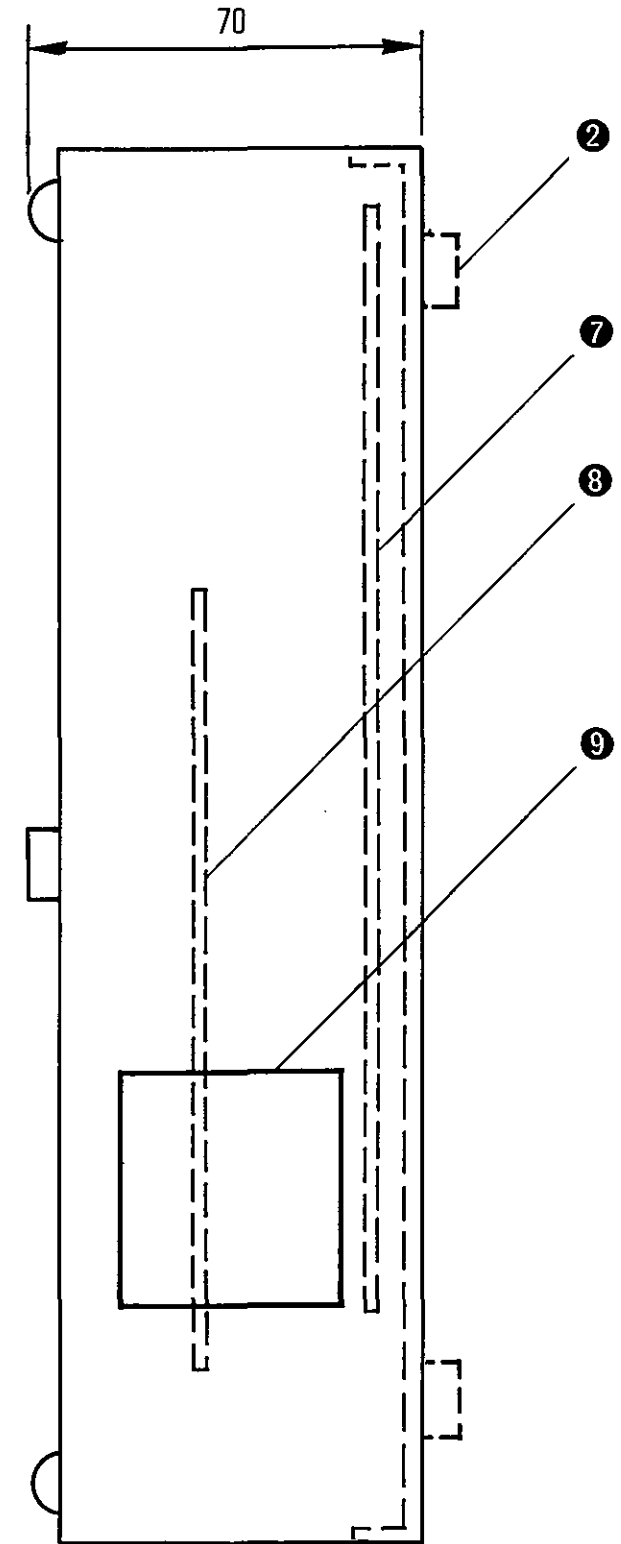
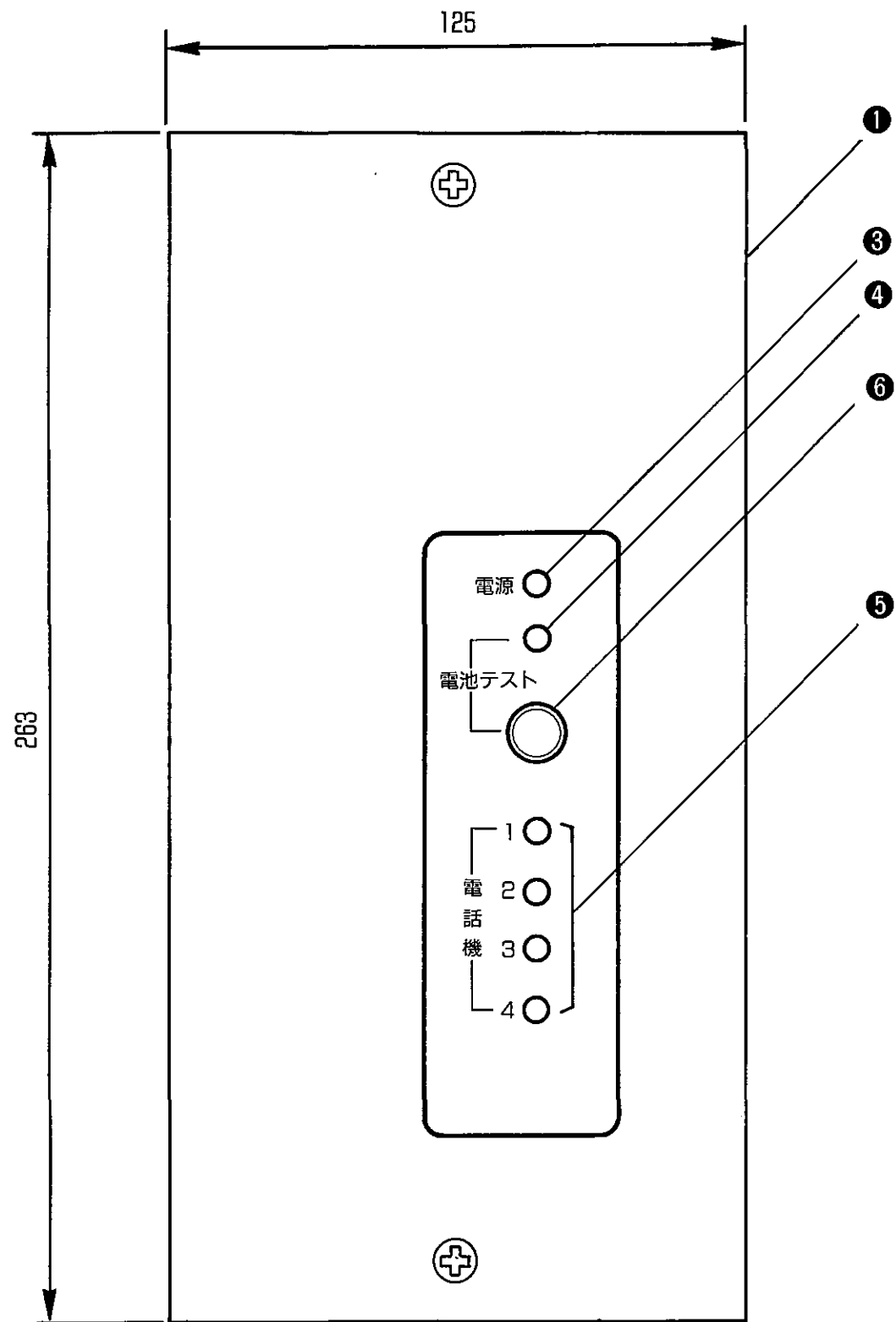


番号	名称	数量
1	ハウジング組立	1
2	ベースプレート組立	1
3	MA-PIP (I)送受器完備	1
4	品名紙	1
5	呼出ボタン	1
6	CD5-TNTAユニット組立	1
7	CD5-INTBユニット組立	1
8	スピーカ	1
9	音量調節つまみ	1
10	モード切替スイッチ	1
	その他組立部品	1式

ガイドホン表示器外観構造図



ガイドホンCD-6増設装置外観構造図



番号	名称	数量
1	上ケース	1
2	下ケース	1
3	電源ランプ	1
4	電池ランプ	1
5	電話表示ランプ	4
6	押しボタン	1
7	CD-6-ADPユニット(1)	1
8	CD-6-ADP ッ (2)	1
9	認定ラベル	1
10	その他組立部品	1式